

平成24年2月29日

会員各位

社団法人日本人材派遣協会
会長 坂本 仁 司
派遣労働者支援委員会
委員長 家中 隆

派遣スタッフWebアンケート調査 (調査結果の概要)

派遣労働者支援委員会において、派遣スタッフを対象にアンケートを行い、派遣で働く人達の就業条件、満足度や希望する働き方等の実情の調査を昨年に引き続き実施いたしました。

派遣で働く人達の派遣就労の実態や意識について、派遣スタッフから直接収集し、経年変化を見ることにより、協会の諸活動の貴重なバックデ-タとします。調査結果については、派遣業界の実態を理解していただき、派遣に対する認識を高めていただくために、社会一般にWEBにて公表していきます。その上で、派遣スタッフの社会的地位の向上や業界の健全化のため、今後の課題等について、具体的に検討し、効果的な事業に関して業界全体で取り組んでいきます。

この度、その結果がまとまりましたので、以下ご報告いたします。

グラフ数値は、小数点以下第二位を四捨五入し、第一位までを表章しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しません。

報告の中で、「事務・販売系」、「製造・軽作業系」と表記していますが、 ページのQ3「現在(または直近)の業務」で分類したカテゴリーで「製造・軽作業系」だけを取り出したものを「製造・軽作業系」とし、それ以外を「事務・販売系」と表現いたしました。

アンケート調査実施要領

1. 実施期間：平成23年11月1日(火)～12月7日(火)
2. 協力依頼：当協会会員(合計626社11月1日時点)
3. 調査対象：現在派遣で働いている方及び派遣で働いた経験のある方
4. 告知方法：会員からの派遣スタッフへの依頼、協会HP及びはけんけんぼメルマガを活用
5. 実施方法：協会HP上のアンケートページに直接入力し、Web送信により回答
6. 回収総数：5,475
7. 有効回答：5,281 (96.5%)

平成24年2月
社団法人 日本人材派遣協会

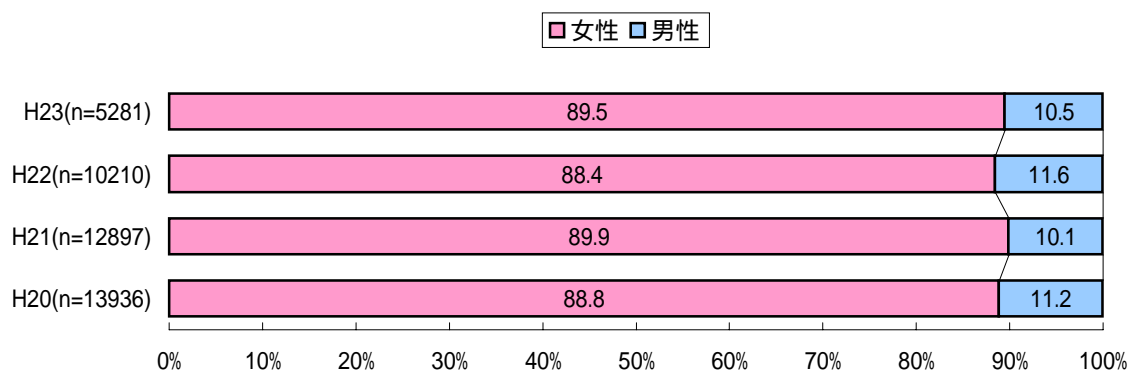
- 目次 -

<u>Q1. あなたご自身について</u>	<u>P1</u>
(1) 性別	P1
(2) 年齢	P3
(3) 家族構成	P5
(4) 家計の主な担い手	P6
<u>Q2. 就業経験・状況</u>	<u>P7</u>
(1) 派遣以外の就業経験の有無	P7
(2) 派遣を選んだ理由	P10
(3) 派遣登録社数	P13
(4) 通算派遣就業期間	P13
(5) 派遣就業先数	P14
(6) 就業状況	P14
(7) 前職	P15
(8) 就業先都道府県	P16
(9) 労働契約期間	P18
(10) 通算就業期間(同一派遣先)	P19
<u>Q3. 現在(または直近)の業務</u>	<u>P22</u>
(1) 業務の種類	P22
(2) 業務内容の差異	P24
<u>Q4. 現在(または直近)の派遣での賃金及び労働時間等</u>	<u>P25</u>
(1) 賃金形態(時給、日給、月給、年俸制)	P25
(2) 賃金額(時給、日給、月給、年俸額)	P26
(3) 昇給の有無	P33
(4) 勤務状況(平均勤務時間、平均勤務日数、実働月数)	P34
(5) 通勤手当	P36
(6) 雇用保険	P37
(7) 健康保険	P38
(8) 公的年金	P38
<u>Q5. 能力開発・キャリア形成</u>	<u>P39</u>
(1) 所有資格	P39
(2) 研修・教育訓練経験	P39
(3) 能力開発・キャリア形成の希望の有無	P42
(4) 派遣就労したことでのスキルアップ	P43
<u>Q6. 派遣法に関すること</u>	<u>P45</u>
(1) 派遣就労期間制限の考え方	P45
<u>Q7. 仕事と生活のバランス</u>	<u>P46</u>
(1) 仕事と生活の重視バランス	P46
(2) 仕事と生活のバランスの取りやすさ	P47
<u>Q8. 派遣で働いていることへの満足度</u>	<u>P48</u>
<u>Q9. 派遣に対するイメージについて</u>	<u>P50</u>
(1) 派遣という働き方のイメージ	P50
(2) 派遣の社会的地位の向上方策	P51
<u>Q10. 今後の希望する働き方について</u>	<u>P52</u>
(1) 今後の働き方の希望	P52
<u>Q11. 派遣先からの直接雇用の打診について</u>	<u>P64</u>
(1) 直接雇用の打診の有無等	P64

Q.1 あなたご自身について

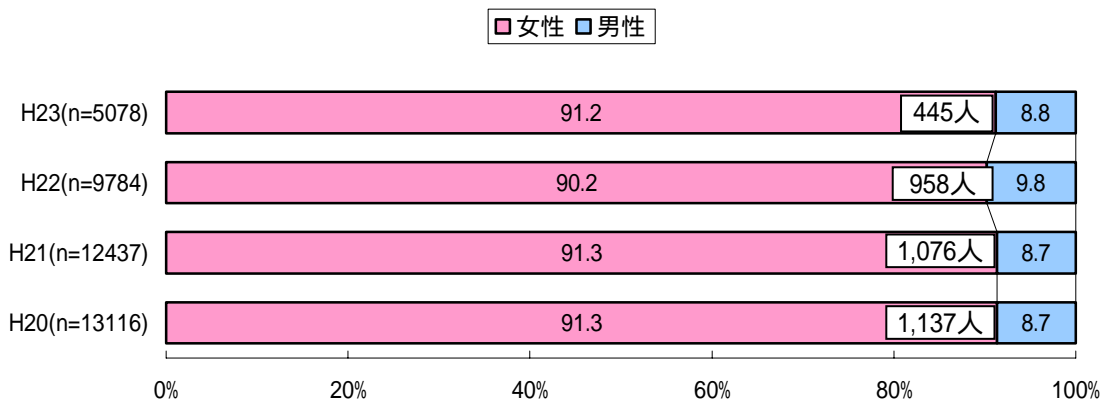
(1) 性別

「女性」が89.5%と大多数を占め、「男性」が10.5%となっている。
前年度と比べると、男性の割合が若干減少している。

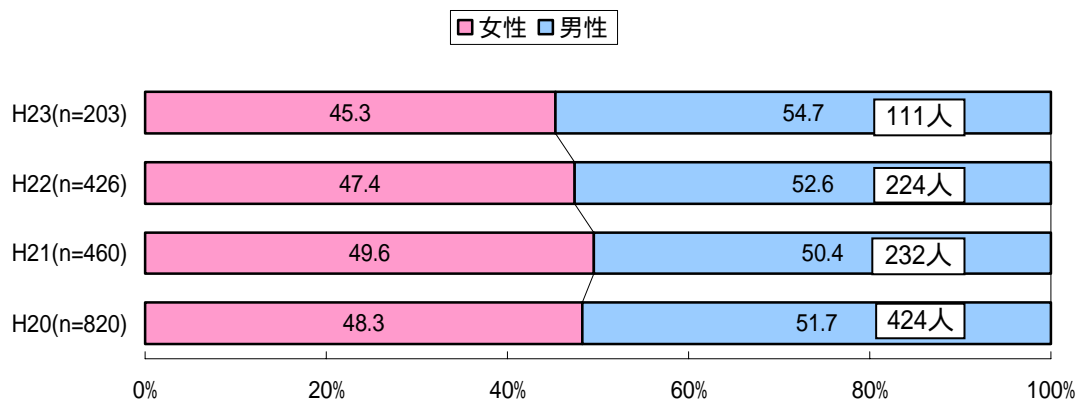


性別の状況を「事務・販売系」と「製造・軽作業系」別にみると、前年度と比べ、男性の割合が「事務・販売系」は（9.8%→8.8%[1.0%減]）、「製造・軽作業系」は、（52.6%→54.7%[2.1%増]）となっている。

事務・販売系（性別）



製造・軽作業系（性別）

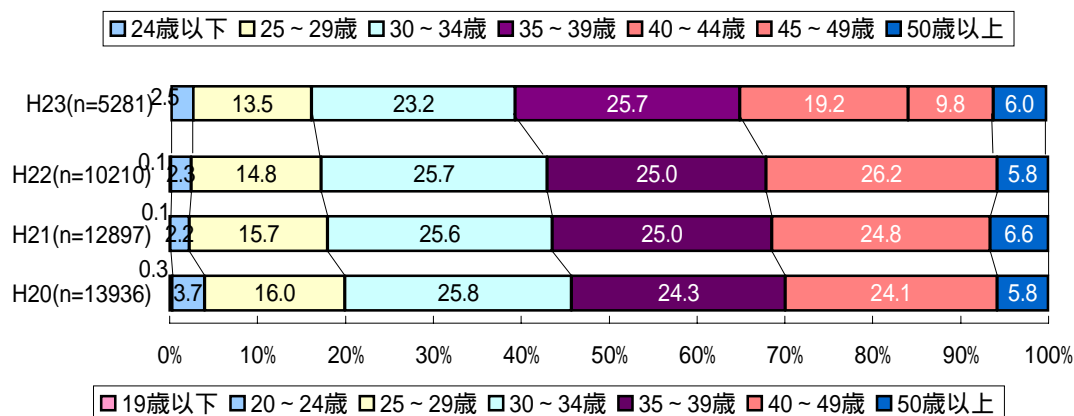


(2) 年齢

年齢構成は、「24歳以下」(2.5%)、「25～29歳」(13.5%)、「30～34歳」(23.2%)、「35～39歳」(25.7%)、「40歳～44歳」(19.2%)、「45歳～49歳」(9.8%)、「50歳以上」(6.0%)となっている。

年代別は、「30歳代」の割合が48.9%を占め、最も多い。平均年齢は37.1歳で、前年度と比べ0.3歳高くなっている。

これを性別で見ると、男女ともに「30歳代」の占める割合が最も高く、男性は「50歳以上」の占める割合では女性を大きく上回っている。



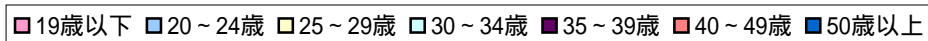
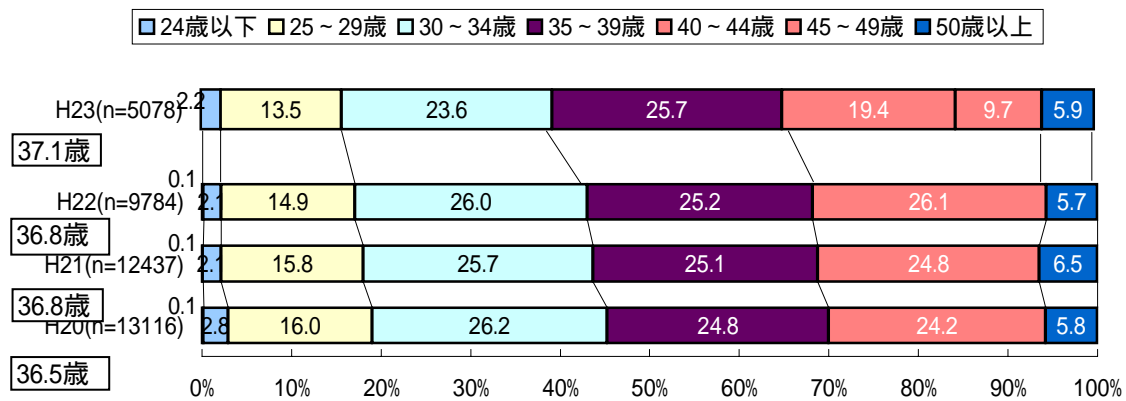
(注) H23年から年齢区分を若干変更しており、H22年以前とは異なる。

	調査数 (n)	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
全体	5,281	100.0	16.0	48.9	29.0	6.0
女性	4,725	100.0	16.0	50.1	29.2	4.6
男性	556	100.0	16.0	39.2	26.8	18.0

年齢の状況は、「事務・販売系」と「製造・軽作業系」とも平均年齢では差がない。

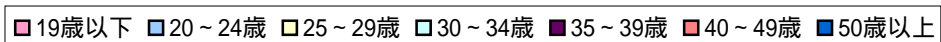
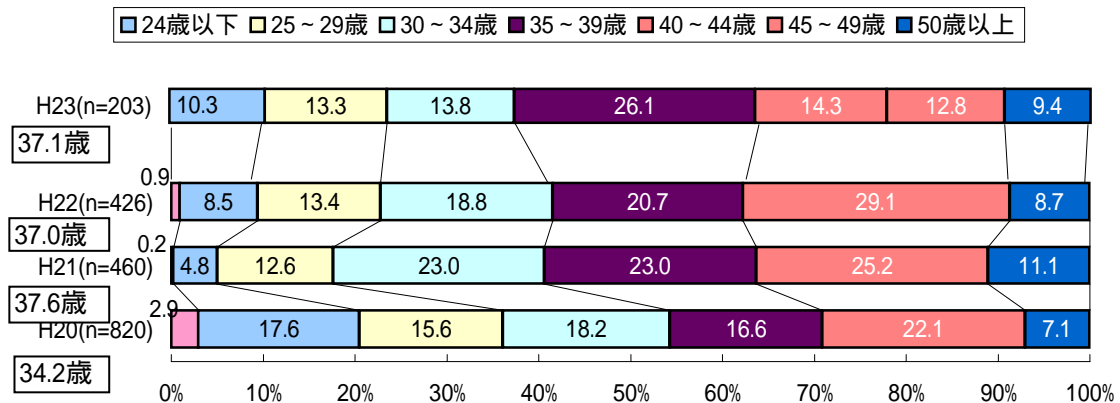
「事務・販売系」の40歳以上の比率が昨年に比べ増加したため、(26.1%→29.1%[3.0%増])、全体としての平均年齢が37.1歳と若干(0.3歳)高くなっている。

事務・販売系 (年齢)



(注) H23年から年齢区分を若干変更しており、H22年以前とは異なる。

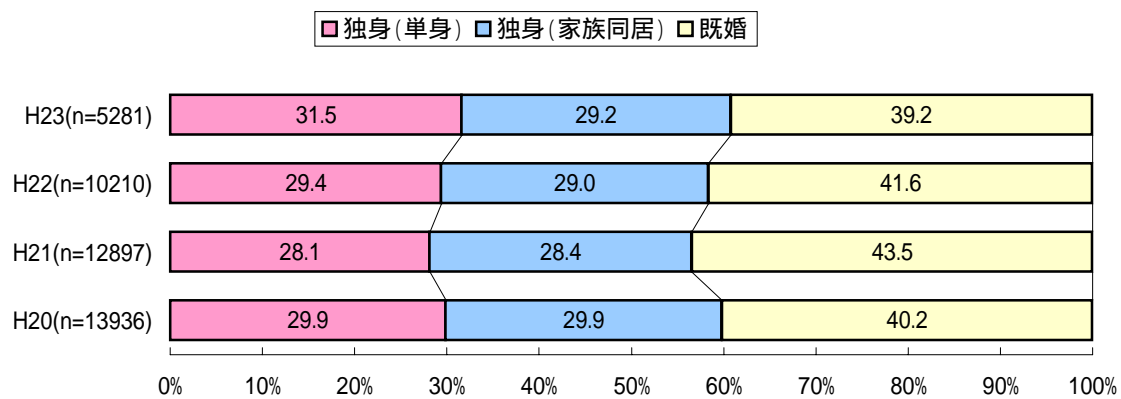
製造・軽作業系 (年齢)



(注) H23年から年齢区分を若干変更しており、H22年以前とは異なる。

(3) 家族構成

単身と家族同居を合わせた「独身」が60.8%、「既婚」が39.2%となっている。前年度と比べると、「独身」の割合が増えている。

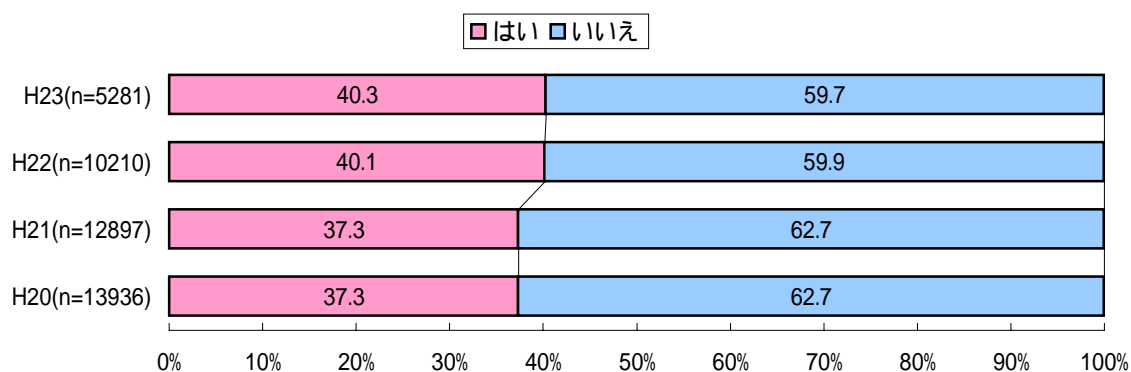


(4) 家計の主な担い手

「いいえ」が59.7%、「はい」が40.3%となっている。
前年度と比べると、「はい」が増加している（40.1%→40.3%[0.2ポイント]）。

「性別」でみると、女性の場合、家計の主たる担い手は3割強に過ぎないが、男性の場合は、7割を占めており、加えて、30歳以上では年齢が高くなるほど家計の主たる担い手の占める割合も高くなっている。

「家族構成」でみると、「独身（単身）」の場合だけが、家計の主たる担い手となっている比率が高くなっている。



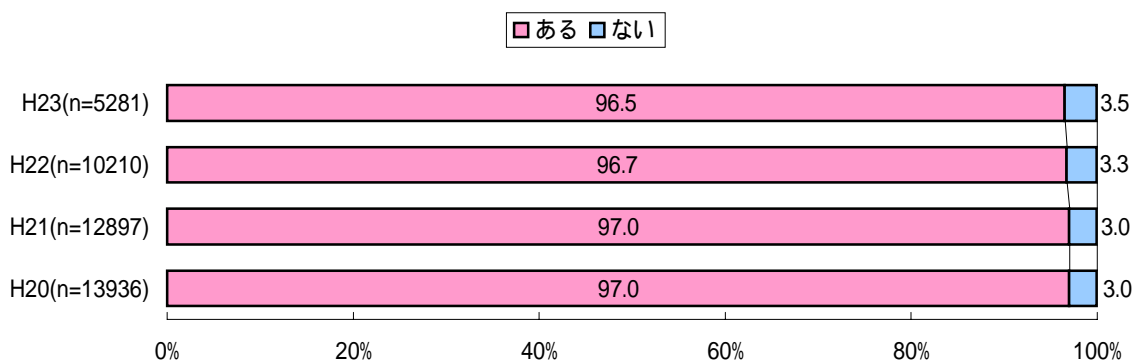
		調査数 (n)	全体	はい	いいえ
全体		5,281	100.0	40.3	59.7
女性全体		4,725	100.0	36.7	63.3
男性全体		556	100.0	70.7	29.3
女性年齢別	24歳以下	105	100.0	26.7	73.3
	25～29歳	653	100.0	33.1	66.9
	30～34歳	1,126	100.0	34.5	65.5
	35～39歳	1,240	100.0	38.0	62.0
	40～44歳	915	100.0	39.2	60.8
	45～49歳	467	100.0	37.9	62.1
	50歳以上	219	100.0	42.9	57.1
男性年齢別	24歳以下	28	100.0	39.3	60.7
	25～29歳	61	100.0	52.5	47.5
	30～34歳	101	100.0	64.4	35.6
	35～39歳	117	100.0	64.1	35.9
	40～44歳	99	100.0	73.7	26.3
	45～49歳	50	100.0	90.0	10.0
	50歳以上	100	100.0	92.0	8.0
独身(単身)		1,666	100.0	79.2	20.8
独身(家族同居)		1,543	100.0	25.7	74.3
既婚		2,072	100.0	19.9	80.1

Q. 2 就業経験・状況

<今までの就業経験についてお聞きします>

(1) 今まで派遣以外で働いたことがありますか？

「今まで派遣以外で働いたことがある」が96.5%と圧倒的多数を占め、「今まで派遣以外で働いたことはない」が3.5%となっている。
「派遣以外で働いたことがない」が若干増える傾向にある。

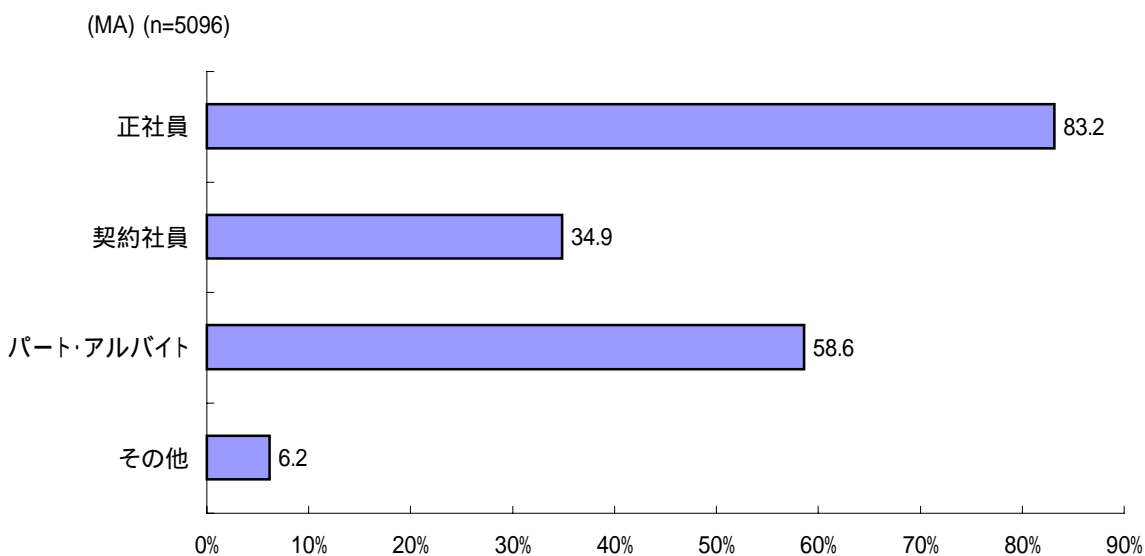


(1) で、1. ある を選択した方のみお答えください。

(1) -A：それはどのような働き方でしたか？（複数回答）

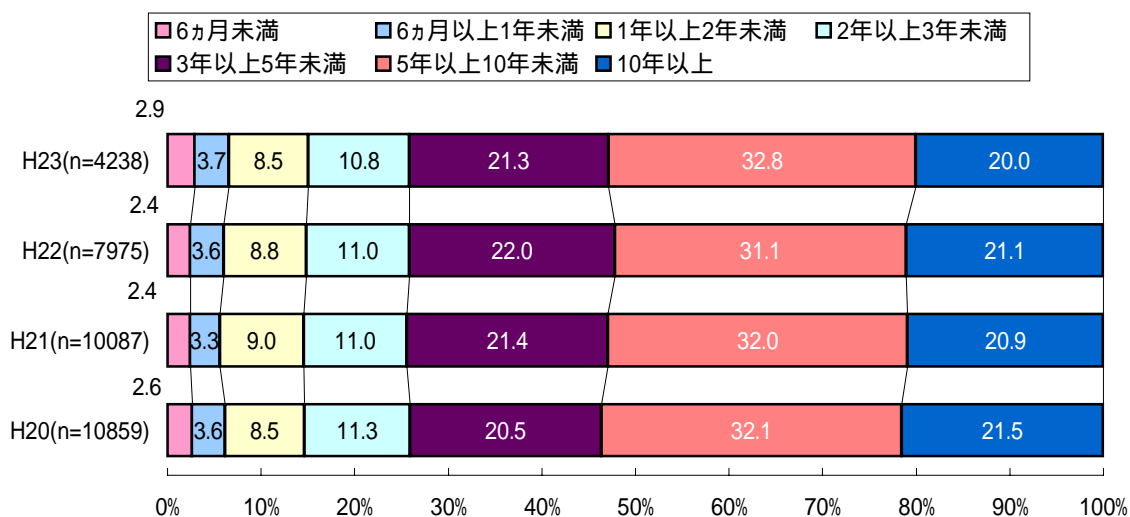
「今まで派遣以外で働いたことがある」と回答した者に、その働き方を尋ねた結果、「正社員」が83.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」58.6%、「契約社員」34.9%となっている。

(MA)は、複数回答の略(以下同じ)



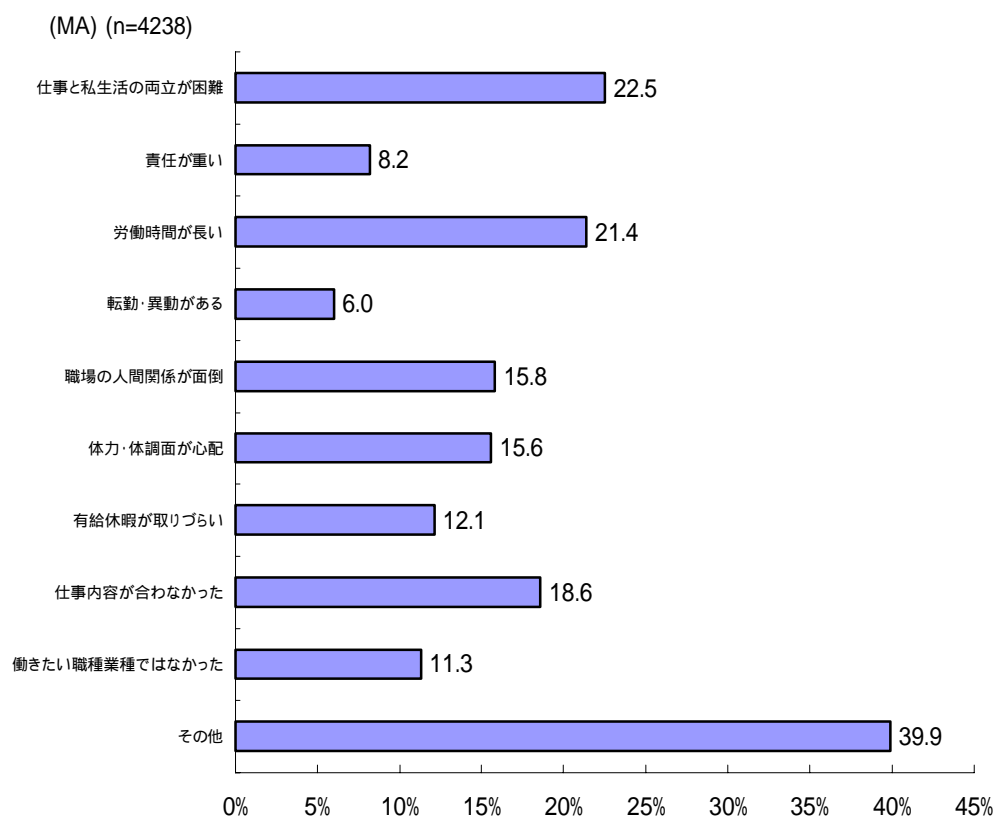
- (1) -Aで、1. 正社員 を選択した方はお答えください。
 (1) -A-a : 正社員で働いた期間は通算してどのくらいですか？

「今まで正社員で働いたことがある」と回答した者に、正社員で働いた通算期間を尋ねた結果、「5年以上10年未満」が32.8%と最も多く、次いで「3年以上5年未満」21.3%、「10年以上」20.0%、「2年以上3年未満」10.8%となっている。正社員で働いた期間を通算すると「2年以上」である人は全体の84.9%を占めている。



(1) -A-b: 正社員をやめた理由をお答えください? (複数回答)

「今まで正社員で働いたことがある」と回答した者に、正社員をやめた理由を尋ねたところ、「仕事と私生活の両立が困難」が22.5%と最も多く、次いで「労働時間が長い」が21.4%、「仕事内容が合わなかった」18.6%、「職場の人間関係が面倒」15.8%、「体力・体調面が心配」15.6%となっている。正社員のデメリットを理由としている例が多い。

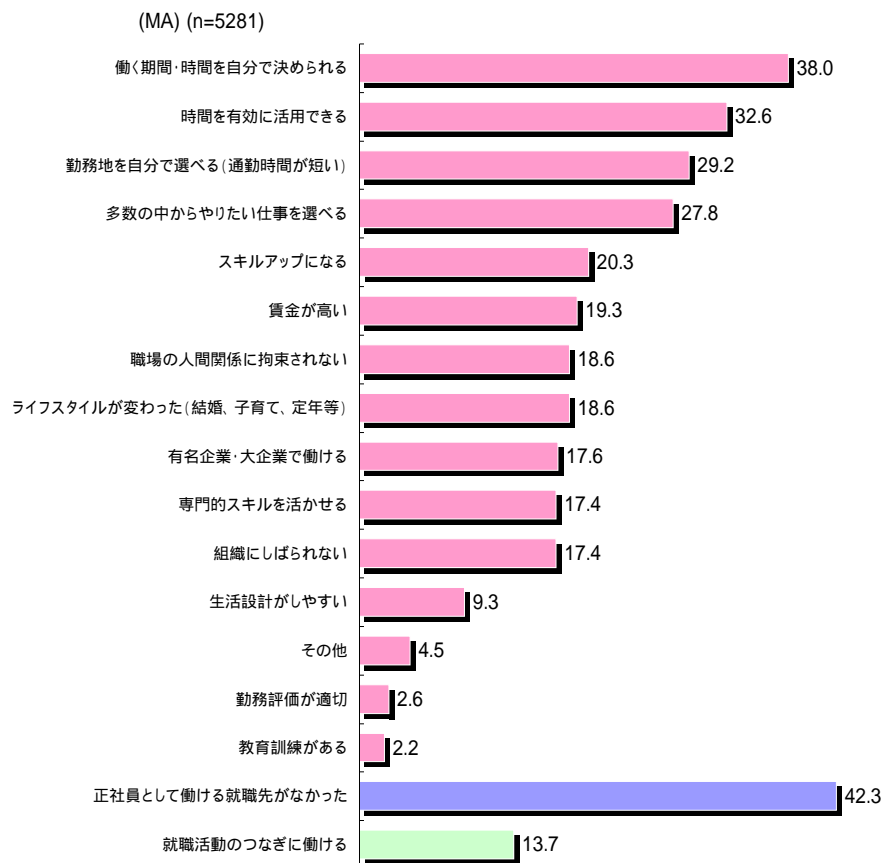


<今までの派遣就業経験についてお聞きします>

(2) 派遣を選んだ理由をお答えください。(複数回答)

「正社員として働ける就職先がなかったため」が42.3%と最も多く、次いで「働く期間・時間を自分で決められるため」38.0%、「時間を有効に活用できるため」32.6%、「勤務地を自分で選べるため(通勤時間が短いため)」29.2%、「多数の中からやりたい仕事を選べるため」27.8%となっている。派遣就労は、「選択肢の多様性」「自由度や柔軟性」という点で評価されていることがうかがえる。また、「職場の人間関係に拘束されないため」18.6%や「組織にしばられないため」17.4%なども、ストレスや責任等が(正社員より)軽減されることをメリットとして選択していることがうかがえる。

「性別・年齢別属性」でみると、女性・男性共に、30歳以上では「正社員として働ける就職先がなかったため」を理由とする割合が高くなっている。特に男性の場合は、全年齢を通じて「正社員として働ける就職先がなかったため」の割合が高い。また、「ライフスタイルが変わったため」は、女性は25歳以上から割合が上昇しているが、男性では50歳以上の層でこの割合が急に高くなっているのが特徴である。



		調査数 (n)	全体	専門的スキルを活かせるため	時間を有効に活用できるため	働く期間・時間を自分で決められるため	多数の中からやりたい仕事を選べるため	生活設計がしやすいため	短時間(通勤時間)のため	勤務地を自分で選べるため	束縛のない人間関係に拘束されないため	職場の人間関係に拘束されないため
全体		5,281	100.0	17.4	32.6	38.0	27.8	9.3	29.2	18.6		
女性全体		4,725	100.0	16.4	32.7	39.4	27.6	9.4	30.2	18.8		
男性全体		556	100.0	25.4	32.2	26.4	29.9	8.3	20.5	16.7		
女性	24歳以下	105	100.0	11.4	34.3	40.0	29.5	7.6	21.0	14.3		
(年齢別)	25～29歳	653	100.0	10.7	38.9	41.0	28.2	10.6	28.5	16.4		
	30～34歳	653	100.0	13.4	34.1	40.9	29.8	11.7	32.9	16.9		
	35～39歳	1,240	100.0	18.8	29.4	39.7	28.5	8.4	30.8	20.2		
	40～44歳	915	100.0	18.0	31.8	36.8	25.0	7.5	29.3	20.3		
	45～49歳	467	100.0	20.1	32.5	39.8	27.6	10.1	28.7	22.3		
	50歳以上	219	100.0	23.3	27.9	34.7	18.3	6.8	29.2	15.5		
男性	24歳以下	28	100.0	3.6	39.3	46.4	21.4	7.1	17.9	14.3		
(年齢別)	25～29歳	61	100.0	21.3	27.9	29.5	29.5	6.6	27.9	13.1		
	30～34歳	101	100.0	23.8	31.7	26.7	36.6	10.9	19.8	15.8		
	35～39歳	117	100.0	29.9	41.0	27.4	36.8	9.4	19.7	16.2		
	40～44歳	99	100.0	24.2	25.3	19.2	26.3	7.1	18.2	14.1		
	45～49歳	50	100.0	22.0	26.0	22.0	24.0	4.0	18.0	28.0		
	50歳以上	100	100.0	33.0	33.0	27.0	24.0	9.0	22.0	18.0		

		有名企業で働けるため	就業先がなかつたため	正社員として働けたため	賃金が高いため	勤務評価が適切なたため	スキルアップになるため	教育訓練があるため	働く活動のつなぎに	就職活動のため	組織にしばらくられないため	子育て、定年等)	ライフスタイルが変	その他
全体		17.6	42.3	19.3	2.6	20.3	2.2	13.7	17.4	18.6	4.5			
女性全体		17.9	41.5	19.7	2.6	20.3	2.1	12.5	17.7	19.7	4.4			
男性全体		14.4	49.3	15.6	2.7	20.1	3.1	24.5	14.9	8.6	5.0			
女性	24歳以下	5.7	34.3	33.3	1.9	28.6	1.9	21.9	16.2	2.9	1.9			
(年齢別)	25～29歳	15.9	33.8	24.7	1.8	20.7	2.1	16.4	15.8	17.8	2.6			
	30～34歳	20.5	41.2	21.0	2.4	20.1	1.7	11.9	16.7	17.4	4.6			
	35～39歳	21.0	43.9	17.7	3.1	22.2	2.3	11.5	18.5	20.4	4.0			
	40～44歳	17.4	42.6	15.5	2.1	18.6	2.2	12.2	18.7	22.1	5.9			
	45～49歳	13.5	46.0	19.9	3.9	18.8	2.4	11.3	19.5	22.9	4.3			
	50歳以上	11.0	42.0	21.5	3.2	16.0	1.8	8.2	15.5	25.1	6.4			
男性	24歳以下	7.1	42.9	42.9	10.7	25.0	7.1	28.6	10.7	3.6	3.6			
(年齢別)	25～29歳	9.8	50.8	19.7	1.6	26.2	3.3	29.5	11.5	4.9	4.9			
	30～34歳	21.8	47.5	21.8	4.0	24.8	2.0	28.7	11.9	5.0	3.0			
	35～39歳	16.2	51.3	15.4	2.6	23.9	4.3	28.2	18.8	4.3	5.1			
	40～44歳	16.2	56.6	13.1	2.0	17.2	4.0	24.2	8.1	6.1	3.0			
	45～49歳	10.0	48.0	8.0	-	14.0	2.0	30.0	30.0	8.0	8.0			
	50歳以上	10.0	43.0	6.0	2.0	12.0	1.0	9.0	16.0	24.0	8.0			

「正社員として働ける就職先がなかったため」及び「就職活動のつなぎに働けるため」を選んだスタッフ（以下図表①～⑥のスタッフ）について、他にどのような回答をしたかクロス集計したところ、これらのスタッフの76.0%の方（①～③のスタッフ）が派遣のプラス面にも目を向け、派遣を積極的に評価している。

積極的評価のみをしているスタッフ（⑦）を含めて、全スタッフ数で見れば88.6%の方が派遣を積極的に評価している結果になっている。

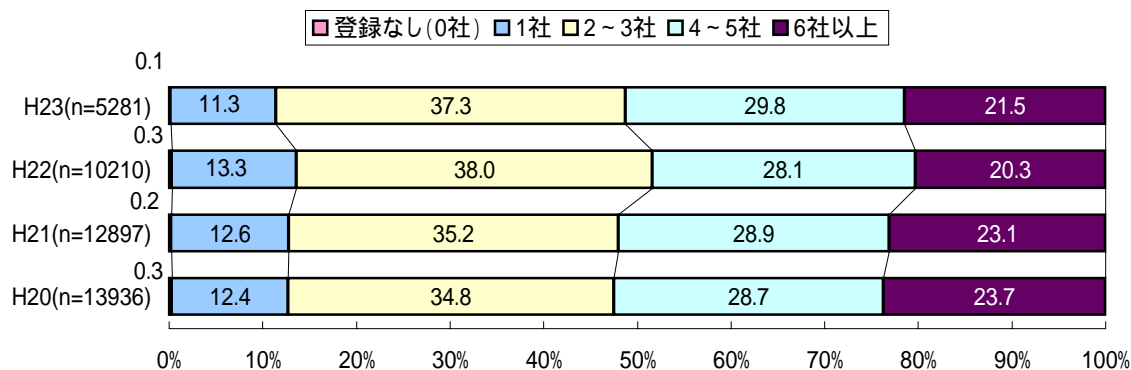
【図表2】「正社員として働ける就職先がなかったため」及び「就職活動のつなぎに働けるため」を選んだ人（下表 印）が積極的理由をも選択している状況

（複数回答、%、件数）

	正社員として働ける就職先がなかったため			×			×	×
	就職活動のつなぎに働けるため	×			×			×
	スタッフ数の割合	25.0%	6.8%	4.3%	8.8%	1.7%	0.9%	52.5%
積極的 理由を 選んだ 件数	働く期間・時間を自分で決められるため	415	130	122	0	0	0	1341
	時間を有効に活用できるため	357	109	99	0	0	0	1157
	勤務地を自分で選べるため（通勤時間が短い）	426	124	76	0	0	0	1540
	多数の中からやりたい仕事を選べるため	375	156	87	0	0	0	851
	スキルアップになるため	279	146	70	0	0	0	576
	賃金が高いため	321	105	49	0	0	0	545
	職場の人間関係に拘束されないため	274	99	47	0	0	0	560
	ライフスタイルが変わったため（結婚、子育て、定年等）	240	47	30	0	0	0	663
	有名企業・大企業で働けるための	337	118	40	0	0	0	432
	専門的スキルを活かせるため	256	84	36	0	0	0	541
組織にしばられないため	227	88	40	0	0	0	562	

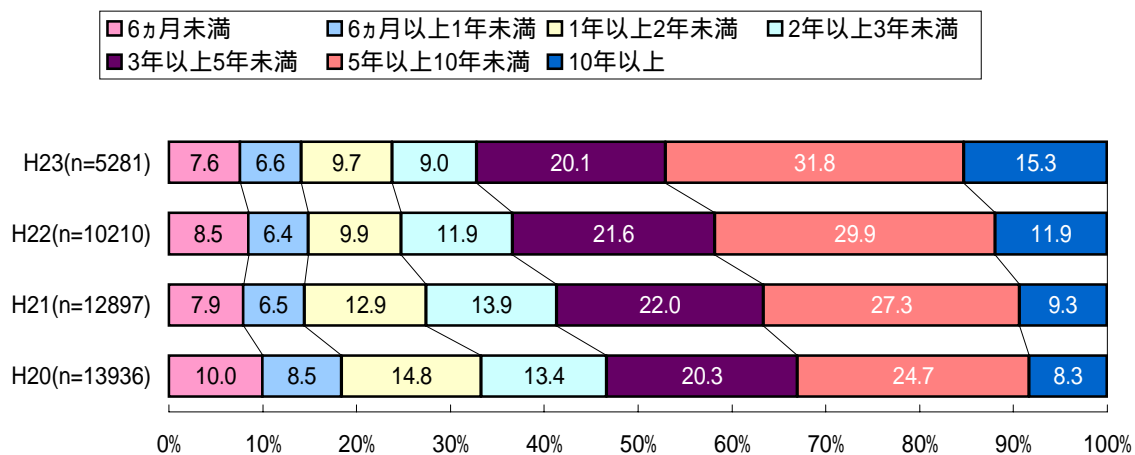
(3) 今まで派遣会社には何社登録しましたか？

「2社以上」の割合が88.6%で、平均すると4.6社となっている。前年度の平均は4.4社であった。



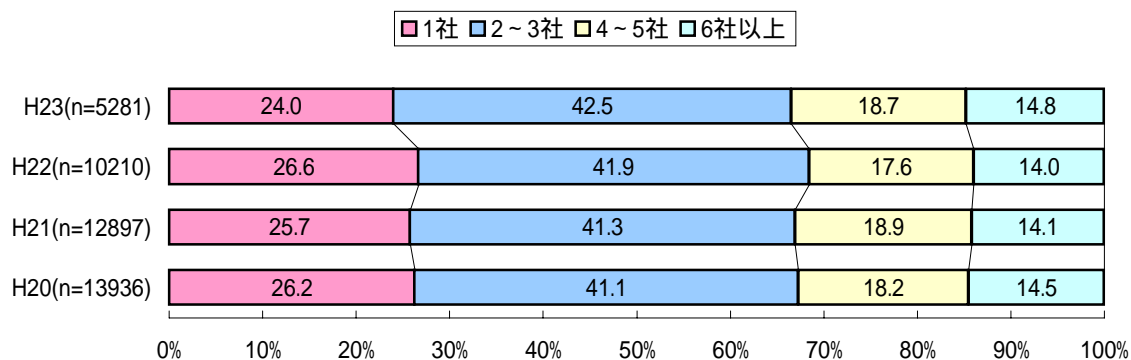
(4) 今まで派遣で働いた期間を通算するとどのくらいですか？（通算派遣期間）

「5年以上10年未満」が31.8%と最も多く、次いで「3年以上5年未満」20.1%、「10年以上」15.3%、「1年以上2年未満」9.7%、「2年以上3年未満」9.0%となっている。派遣で働いた期間を通算すると「2年以上」である人は全体の76.2%を占めている。
前年度と比べると、「5年以上」の割合が増えている。



(5) 今まで働いたことのある派遣就業先は何社ですか？

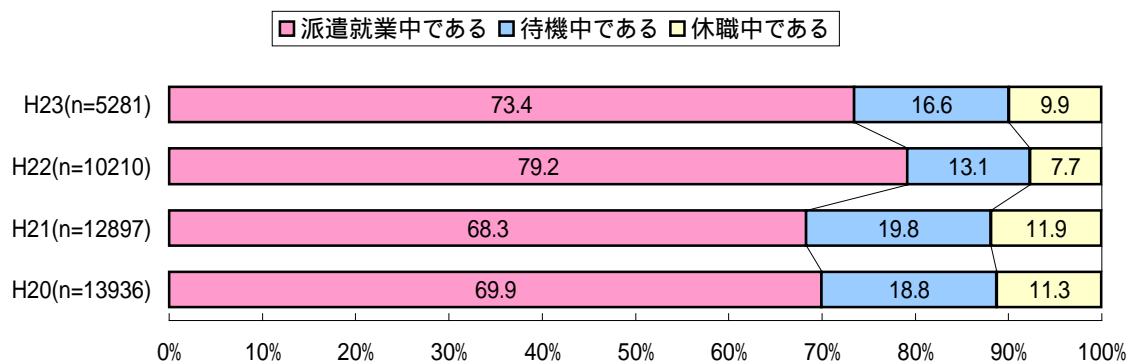
「2～3社」が42.5%と最も多く、次いで「1社」が24.0%となっている。
「3社以下」の割合が、7割弱となっており、平均すると3.6社となっている。
前年度の平均と同じである。



<現在（または直近）の派遣会社からの派遣就業についてお聞きします>

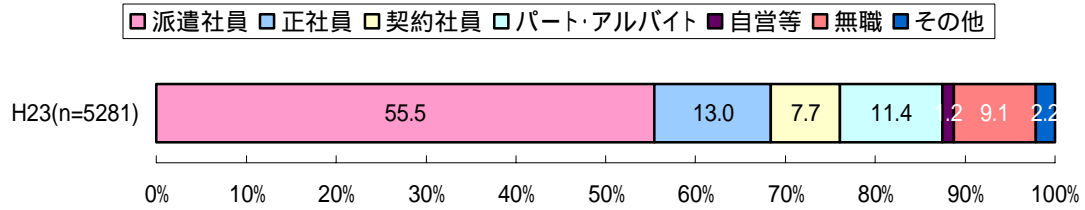
(6) 現在、派遣で働いていますか？

「派遣就業中である」が73.4%と多数を占め、「待機中である」と「休職中である」を合わせると26.6%となっている。
景気の影響か、前年度と比べると、「派遣就業中」が大幅に減少している。



(7) 現在（または直近）の就業の直前は、どういう状況でしたか？

「派遣社員」が55.5%と過半数を占め、次に「正社員」が13.0%、「パート・アルバイト」11.4%、「無職」9.1%となっている。
派遣が無職の方への雇用の受け皿になっており、失業率低下へ派遣が機能していることが伺われる。



(8) 現在（または直近）の就業先の都道府県はどちらですか？

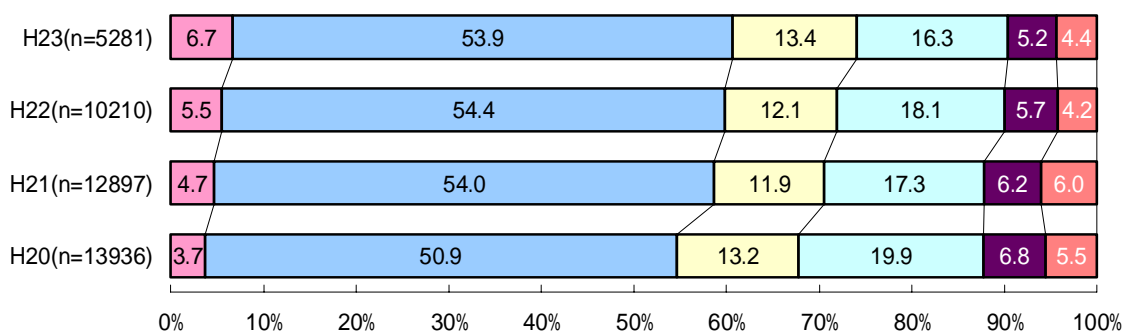
現在（または直近）の就業先の都道府県を地区別で見ると、「関東地区」が53.9%で半数以上を占め、次いで「関西地区」16.3%、「中部地区」13.4%となっている。

前年度と比べると、「北海道・東北地区」「中部地区」の割合が増えている。

地区の中でさらに、主要都道府県とそれ以外で見ると、いわゆる首都圏である「関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）」が51.6%で半数を占めている。

都道府県別では、「東京都」が38.8%と最も多く、次いで「大阪府」10.2%、「愛知県」9.0%となっている。

■北海道・東北地区 ■関東地区 ■中部地区 ■関西地区 ■中国・四国地区 ■九州・沖縄地区

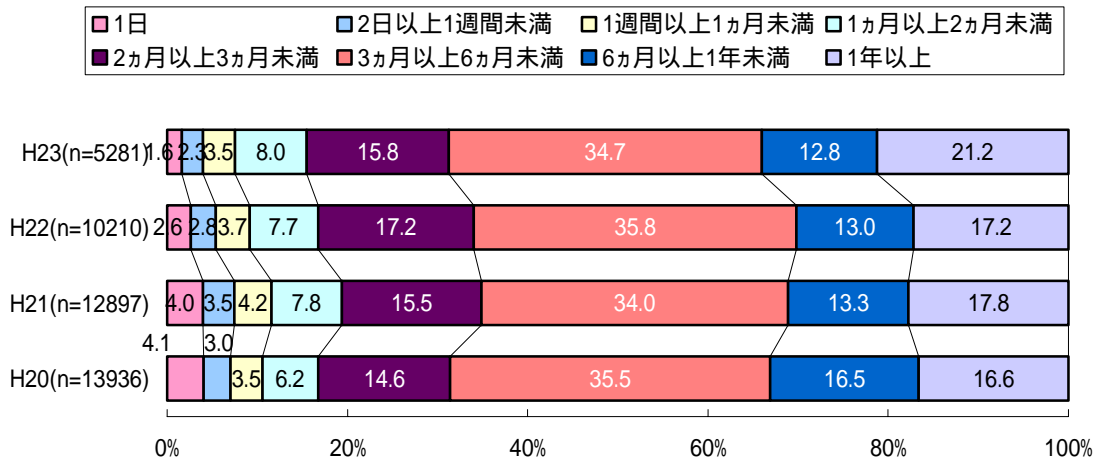


	調査成数	割合 (%)	調査成数	割合 (%)	調査成数	割合 (%)	調査成数	割合 (%)
主要都道府県とそれ以外	23年	(%)	22年	(%)	21年	(%)	20年	(%)
全体	5,281	100.0	10,210	100.0	12,897	100.0	13,936	100.0
1 北海道	130	2.5	191	1.9	250	1.9	229	1.6
2 東北(宮城)	120	2.3	204	2.0	208	1.6	172	1.2
3 東北(青森・岩手・秋田・山形・福	104	2.0	167	1.6	144	1.1	110	0.8
4 関東(東京)	2,048	38.8	3,876	38.0	4,730	36.7	5,056	36.3
5 関東(埼玉・千葉・東京・神奈川)	2,727	51.6	5,172	50.7	6,449	50.0	6,858	49.2
6 関東(茨城・栃木・群馬・山梨)	120	2.3	378	3.7	516	4.0	240	1.7
7 中部(愛知)	473	9.0	734	7.2	1,059	8.2	1,321	9.5
8 中部(新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・三重)	237	4.5	498	4.9	472	3.7	519	3.7
9 関西(大阪)	541	10.2	1,158	11.3	1,509	11.7	1,881	13.5
10 関西(京都・大阪・兵庫)	792	15.0	1,724	16.9	2,122	16.5	2,611	18.7
11 関西(滋賀・奈良・和歌山)	69	1.3	127	1.2	110	0.9	168	1.2
12 中国(岡山・広島)	149	2.8	316	3.1	474	3.7	595	4.3
13 中国(鳥取・島根・山口)	28	0.5	56	0.5	43	0.3	40	0.3
14 四国(香川・徳島・愛媛・高知)	100	1.9	211	2.1	277	2.1	309	2.2
15 九州(福岡)	136	2.6	250	2.4	528	4.1	485	3.5
16 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)	96	1.8	182	1.8	245	1.9	279	2.0

	都道府県別	調査数 平成 23 年	割合 (%)	調査数 平成 22 年	割合 (%)	調査数 平成 21 年	割合 (%)	調査数 平成 20 年	割合 (%)
	全体	5,281	100.0	10,210	100.0	12,897	100.0	13,936	100.0
1	北海道	130	2.5	191	1.9	250	1.9	229	1.6
2	青森県	25	0.5	51	0.5	38	0.3	29	0.2
3	岩手県	20	0.4	33	0.3	34	0.3	21	0.2
4	宮城県	120	2.3	204	2.0	208	1.6	172	1.2
5	秋田県	13	0.2	25	0.2	13	0.1	11	0.1
6	山形県	15	0.3	17	0.2	12	0.1	13	0.1
7	福島県	31	0.6	41	0.4	47	0.4	36	0.3
8	茨城県	52	1.0	143	1.4	164	1.3	104	0.7
9	栃木県	44	0.8	161	1.6	264	2.0	88	0.6
10	群馬県	17	0.3	64	0.6	74	0.6	36	0.3
11	埼玉県	166	3.1	295	2.9	471	3.7	442	3.2
12	千葉県	160	3.0	315	3.1	337	2.6	374	2.7
13	東京都	2,048	38.8	3,876	38.0	4,730	36.7	5,056	36.3
14	神奈川県	353	6.7	686	6.7	911	7.1	986	7.1
15	新潟県	32	0.6	123	1.2	50	0.4	45	0.3
16	山梨県	7	0.1	10	0.1	14	0.1	12	0.1
17	富山県	11	0.2	37	0.4	18	0.1	19	0.1
18	石川県	15	0.3	41	0.4	35	0.3	26	0.2
19	福井県	3	0.1	11	0.1	9	0.1	14	0.1
20	長野県	20	0.4	36	0.4	43	0.3	32	0.2
21	岐阜県	40	0.8	58	0.6	77	0.6	79	0.6
22	静岡県	82	1.6	151	1.5	154	1.2	211	1.5
23	愛知県	473	9.0	734	7.2	1,059	8.2	1,321	9.5
24	三重県	34	0.6	41	0.4	86	0.7	93	0.7
25	滋賀県	38	0.7	69	0.7	48	0.4	96	0.7
26	京都府	95	1.8	226	2.2	201	1.6	267	1.9
27	大阪府	541	10.2	1,158	11.3	1,509	11.7	1,881	13.5
28	兵庫県	156	3.0	340	3.3	412	3.2	463	3.3
29	奈良県	21	0.4	33	0.3	38	0.3	44	0.3
30	和歌山県	10	0.2	25	0.2	24	0.2	28	0.2
31	鳥取県	1	0.0	9	0.1	9	0.1	5	0.0
32	岡山県	32	0.6	121	1.2	182	1.4	270	1.9
33	香川県	21	0.4	103	1.0	143	1.1	129	0.9
34	徳島県	7	0.1	25	0.2	49	0.4	18	0.1
35	愛媛県	68	1.3	73	0.7	69	0.5	140	1.0
36	高知県	4	0.1	10	0.1	16	0.1	22	0.2
37	島根県	4	0.1	10	0.1	8	0.1	10	0.1
38	広島県	117	2.2	195	1.9	292	2.3	325	2.3
39	山口県	23	0.4	37	0.4	26	0.2	25	0.2
40	福岡県	136	2.6	250	2.4	528	4.1	485	3.5
41	佐賀県	12	0.2	10	0.1	17	0.1	30	0.2
42	長崎県	5	0.1	18	0.2	19	0.1	33	0.2
43	熊本県	19	0.4	50	0.5	78	0.6	79	0.6
44	大分県	16	0.3	26	0.3	43	0.3	26	0.2
45	宮崎県	13	0.2	32	0.3	24	0.2	44	0.3
46	鹿児島県	21	0.4	27	0.3	40	0.3	39	0.3
47	沖縄県	10	0.2	19	0.2	24	0.2	28	0.2

(9) 現在（または直近）の労働契約の期間はどのくらいですか？(労働契約期間)

「3ヵ月以上6ヵ月未満」が34.7%と最も多く、次いで「1年以上」が21.2%、「2ヵ月以上3ヵ月未満」が15.8%、「6ヵ月以上1年未満」12.8%となっている。「1ヵ月未満」は7.5%である。
前年度と比べると、全体としては、「3ヵ月未満」の割合が減っている。「1年以上」が大幅に増えている。



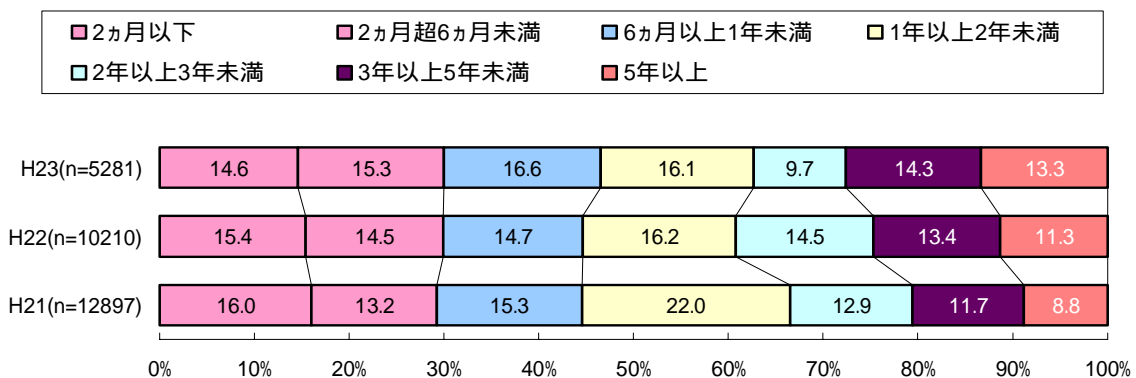
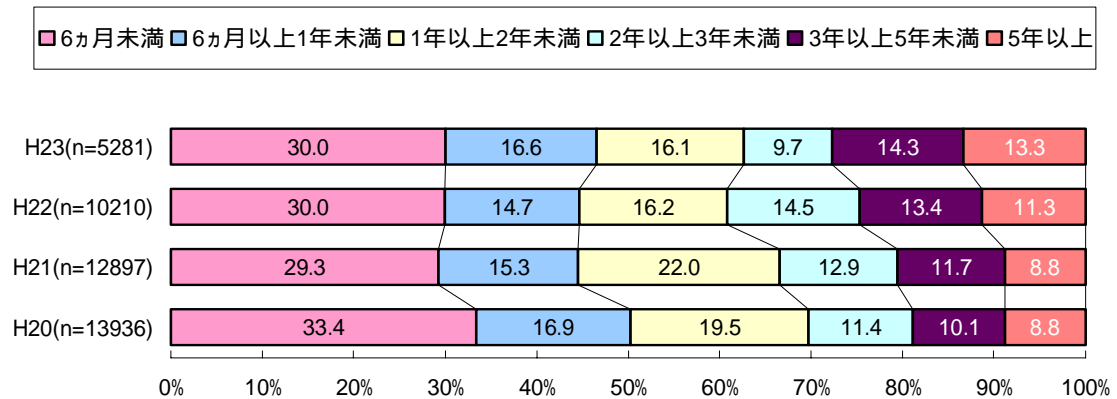
(参考) 日雇い派遣指針では、「日雇い派遣」は「日々」又は「30日以内」の労働契約を結んで派遣すると定義されている。

(10) 現在（または直近）の就業先において、通算した就業期間はどのくらいですか？
 （通算就業期間）

現在（または直近）の就業先において通算した就業期間（以下「通算就業期間」という。）は、「6ヵ月未満」が30.0%と最も多く、次いで「6ヵ月以上1年未満」16.6%、1年以上2年未満16.1%となっている。同じ就業先で通算「3年以上」就業している人は全体の約3割弱となっている。

前年度と比べると、「2年以上3年未満」が減少し、「6ヵ月以上1年未満」、「3年以上」の割合が増えている。

また、「6ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超6ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」が14.6%、「2ヵ月超6ヵ月未満」が15.3%となっている。



現在（又は直近）の就業先での通算就業期間を問わず、労働契約期間は「3ヵ月以上6ヵ月未満」とする割合が最も多くなっているが、通算就業期間が「1年以上」の者は、労働契約期間が「1年以上」の者の割合が多くなっている。

<労働契約期間別通算就業期間>

通算就業期間

	調査数 (n)	全体	2 ヵ月 以下	2 ヵ月 超 6 ヵ月 未 満	6 ヵ月 以上 1 年 未 満	1 年 以上 2 年 未 満	2 年 以上 3 年 未 満	3 年 以上 5 年 未 満	5 年 以上
調査数(n)	5,281		773	810	876	851	511	757	703
全体	5,281	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1日	85	1.6	7.5	1.1	0.6	0.4	0.6	0.1	0.9
2日以上1週間未満	124	2.3	10.7	2.0	1.5	0.1	0.2	0.5	0.9
1週間以上1ヵ月未満	187	3.5	16.3	1.9	1.9	1.2	1.2	0.7	1.1
1ヵ月以上2ヵ月未満	422	8.0	16.3	6.7	6.8	5.2	3.5	3.7	2.7
2ヵ月以上3ヵ月未満	834	15.8	14.2	23.0	12.2	14.6	17.2	15.1	14.9
3ヵ月以上6ヵ月未満	1,833	34.7	14.6	46.2	33.3	34.7	35.6	39.5	39.5
6ヵ月以上1年未満	676	12.8	3.6	11.1	28.0	9.9	9.6	11.0	13.8
1年以上	1,120	21.2	7.2	8.1	15.6	32.1	32.1	29.5	26.2

労働契約期間P18 Q2(9)

通算就業期間から「派遣を選んだ理由」をみると、「2ヵ月超6ヵ月未満」においては、派遣の「自由度や柔軟性」を評価して選んだ方の割合が、全体の比率15.3%を超えているものが多くなっている。

<派遣を選んだ理由別通算就業期間>

通算就業期間

	調査数 (n)	全体	2 ヵ月 以下	2 ヵ月 超 6 ヵ月 未 満	6 ヵ月 以上 1 年 未 満	1 年 以上 2 年 未 満	2 年 以上 3 年 未 満	3 年 以上 5 年 未 満	5 年 以上
全体	5,281	100.0	14.6	15.3	16.6	16.1	9.7	14.3	13.3
専門的スキルを活かせるため	917	100.0	13.6	16.0	15.5	18.6	10.0	13.3	12.9
時間を有効に活用できるため	1,722	100.0	15.5	15.7	16.6	15.9	9.3	13.9	13.1
働く期間・時間を自分で決められるため	2,008	100.0	18.3	17.6	17.4	16.4	7.4	12.9	10.0
多数の中からやりたい仕事を選べるため	1,469	100.0	17.8	18.0	16.8	17.0	8.4	13.2	8.8
生活設計がしやすいため	490	100.0	14.3	18.2	15.9	14.9	8.8	14.7	13.3
勤務地を自分で選べるため(通勤時間が短い)	1,540	100.0	14.8	14.9	16.7	16.4	9.2	15.5	12.5
職場の人間関係に拘束されないため	980	100.0	14.9	16.4	15.5	15.0	10.2	14.5	13.5
有名企業・大企業で働けるため	927	100.0	13.8	16.6	14.0	16.3	11.9	14.7	12.7
正社員として働ける就職先がなかったため	2,236	100.0	12.8	15.7	16.2	17.0	10.7	14.6	13.0
賃金が高いため	1,020	100.0	17.8	16.0	15.5	16.9	9.7	13.9	10.2
勤務評価が適切なため	139	100.0	14.4	15.1	15.8	16.5	8.6	15.8	13.7
スキルアップになるため	1,071	100.0	17.6	18.8	17.7	15.7	8.7	12.9	8.7
教育訓練があるため	116	100.0	21.6	12.1	20.7	18.1	7.8	8.6	11.2
就職活動のつなぎに働けるため	726	100.0	19.7	20.2	17.5	15.3	8.7	10.9	7.7
組織にしばられないため	917	100.0	14.3	16.2	15.4	16.1	8.6	15.3	14.1
ライフスタイルが変わったため(結婚、子育て、定年等)	980	100.0	16.2	12.9	18.9	17.3	8.9	13.3	12.6
その他	236	100.0	12.7	12.7	17.8	19.1	9.3	12.3	16.1

派遣を選んだ理由P10 Q2(2)

Q. 3 現在（または直近）の業務

(1) 現在（または直近）、実際に働かれている主な業務の種類を次の中から選択し、該当する数字に○をおつけ下さい。

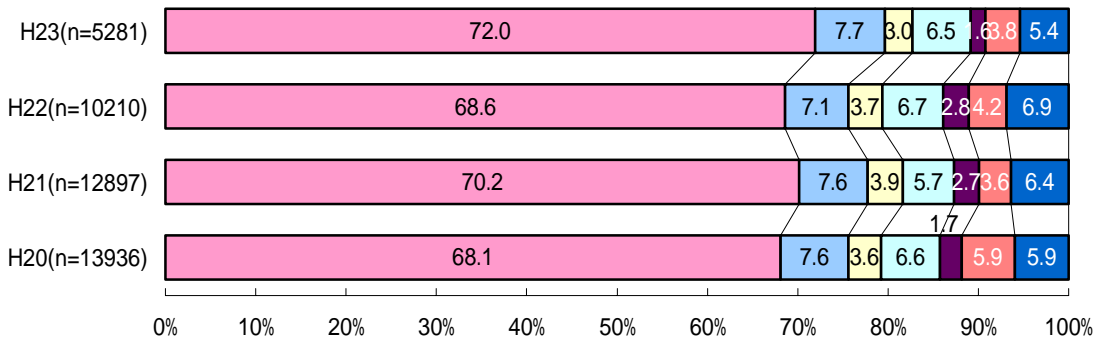
実際に働いている業務をカテゴリー別に分類すると、「オフィス系」が72.0%と最も多く、「営業・販売・サービス系」7.7%、「IT技術・通信系」6.5%、「製造・軽作業系」3.8%、「金融系」3.0%、「その他」5.4%となっている。

前年度と比べると、「オフィス系」の割合が増加している。

業務の種類で分類すると、

(1) 政令で定める26業務は「5号業務（事務用機器操作）」が40.2%と最も多く、次いで「11号業務（貿易、国内取引業務）」7.2%、「10号業務（財務処理）」3.9%、「23号業務（OAインストラクター（ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む）、その他IT技術・通信系業務）」3.3%、「16号業務（受付・案内、駐車場管理等）」2.4%となっている。

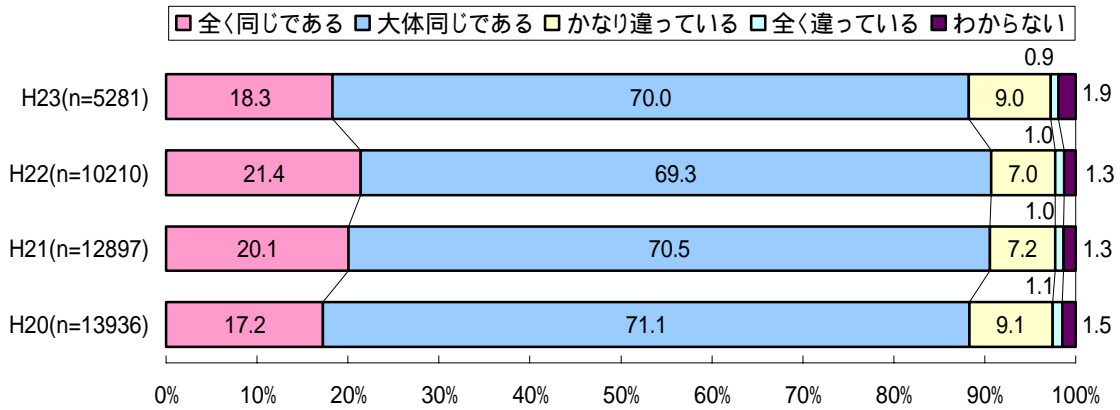
(2) 政令で定める26業務以外の業務は、全体の30.5%、「オフィス・その他」17.1%、「営業・販売・その他」が5.0%、「製造・軽作業」3.8%となっている。



	調平 査成 数 2 3 年	割 合 (%) (%)	調平 査成 数 2 2 年	割 合 (%) (%)	調平 査成 数 2 1 年	割 合 (%) (%)	調平 査成 数 2 0 年	割 合 (%) (%)
全 体	5,281	100.0	10,210	100	12,897	100.0	13,936	100.0
[1号]ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	60	1.1	137	1.3	154	1.2	152	1.1
[2号]機械設計(CADオペレーター等)	74	1.4	140	1.4	174	1.3	279	2.0
[5号]OA事務、英文事務、PCオペレーター	2,125	40.2	3,834	37.6	5,398	41.9	5,344	38.3
[6号]通訳・翻訳・速記	57	1.1	130	1.3	138	1.1	129	0.9
[7号]秘書	94	1.8	171	1.7	186	1.4	212	1.5
[8号]専門的文書ファイリング	22	0.4	58	0.6	214	1.7	244	1.8
[9号]市場調査	12	0.2	42	0.4	89	0.7	19	0.1
[10号]財務処理	204	3.9	380	3.7	520	4.0	648	4.6
[11号]貿易・国際業務、営業事務(国内取引文書作成)	379	7.2	683	6.7	675	5.2	949	6.8
[12号]デモンストレーション(高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)	17	0.3	39	0.4	39	0.3	40	0.3
[13号]添乗	3	0.1	26	0.3	11	0.1	10	0.1
[14号]建築物清掃	0	0	2	0	5	-	12	0.1
[15号]建築設備運転、点検、整備	3	0.1	7	0.1	6	-	14	0.1
[16号]受付・案内、駐車場管理等	126	2.4	297	2.9	432	3.3	464	3.3
[17号]研究開発	78	1.5	152	1.5	174	1.3	242	1.7
[18号]事業の実施体制の企画、立案	0	0	11	0.1	12	0.1	8	0.1
[19号]制作・編集・校正、DTPデザイン	57	1.1	111	1.1	223	1.7	215	1.5
[20号]広告デザイン	1	0	13	0.1	14	0.1	12	0.1
[WEBデザイン複合]WEBデザイン(19号or20号)、CGデザイン(19号or20号)、【その他クリエイティブ業務】	25	0.4	155	1.5	101	0.8	82	0.6
[21号]インテリアコーディネータ	2	0	10	0.1	12	0.1	26	0.2
[23号]OAインストラクター(ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む)、【その他IT技術・通信系業務】	170	3.3	351	3.4	352	2.7	419	3.0
[24号]テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	129	2.4	260	2.5	414	3.2	372	2.7
[25号]セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	24	0.5	40	0.4	92	0.7	55	0.4
[3、4、22、26号]放送関連業務	7	0.1	12	0.1	23	0.2	7	0.1
[オフィス・その他]データ入力(キー入力のみ)、庶務事務(OA業務は含まず)、その他オフィス業務	905	17.1	1,687	16.5	1,730	13.4	1,796	12.9
[営業・その他サービス]その他営業・販売・サービス	262	5.0	457	4.5	588	4.6	697	5.0
[その他金融業務]窓口・接客等の業務	63	1.2	132	1.3	161	1.2	158	1.1
[製造・軽作業]製造(ライン業務・生産管理等)、各種運転手、軽作業(会場設営・引越し等)、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	203	3.8	426	4.2	460	3.6	820	5.9
[医療](医療事務、医療関連業務、看護関連業務)	74	1.4	178	1.7	198	1.5	207	1.5
[介護・福祉]介護・福祉関連業務	27	0.5	38	0.4	48	0.4	48	0.3
[その他専門職]	78	1.5	231	2.3	254	2.0	256	1.8

(2) (1) で回答した業務は、あらかじめ派遣元から聞いている業務内容や就業条件明示書（契約書）に書かれている業務内容と同じでしたか？

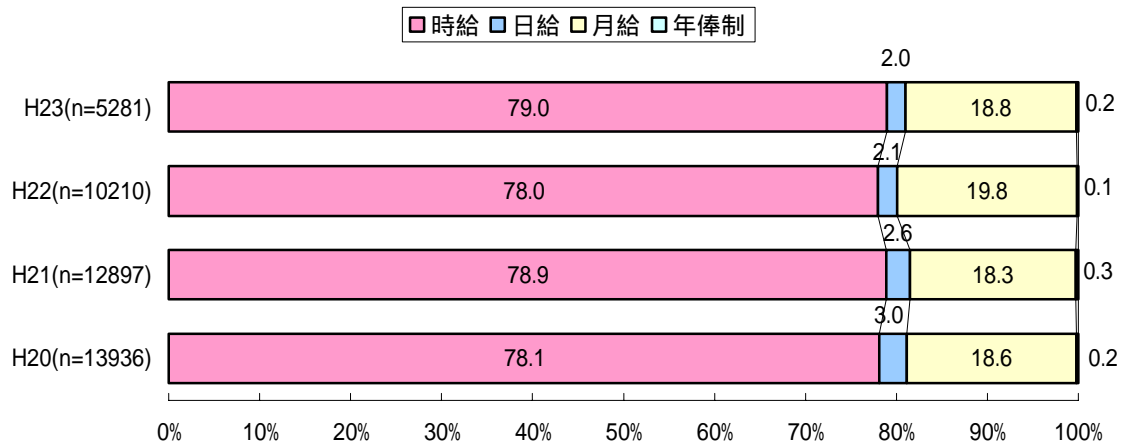
「全く同じである」「大体同じである」を合わせると、88.2%と大多数を占め、「かなり違っている」「全く違っている」は9.9%となっている。



Q. 4 現在（または直近）の派遣での賃金及び労働時間等

(1) 現在（または直近）の賃金は、どのように支払われていますか？

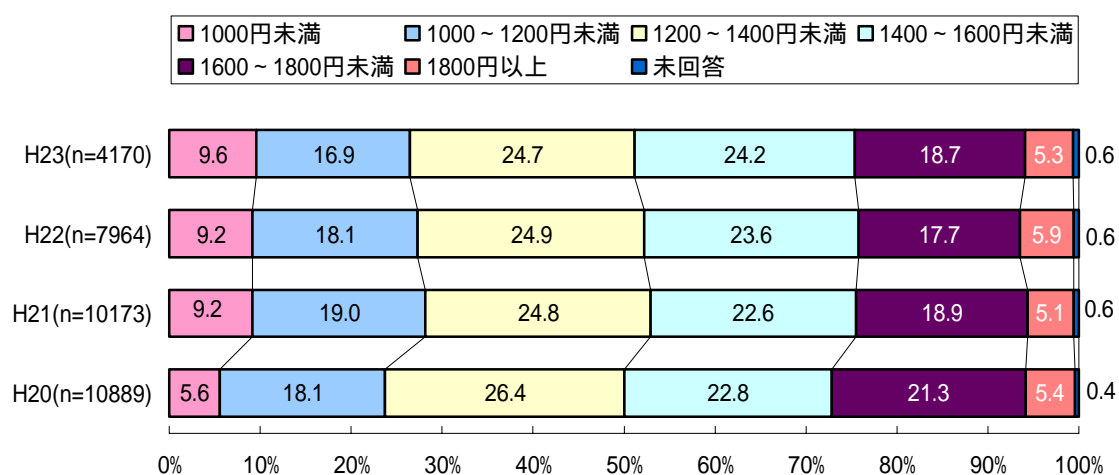
「時給」が79.0%と大多数を占め、次いで「月給」18.8%、「日給」2.0%、「年俸制」0.2%となっている。
前年度と比べると、ほぼ同様である。



(2) 現在 (または直近) の賃金額についてお答えください。
 ((1) の選択肢を元に)

1. 時給

賃金の支給方法が「時給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「1200～1400円未満」が24.7%と最も多く、次いで「1400～1600円未満」24.2%、「1000～1200円未満」16.9%となっており、この層で7割弱を占めている。
 平均時給についてみると、平成23年度は1,363円、平成22年度は1,363円、平成21年度は1,353円、平成20年度1,386円となっている。

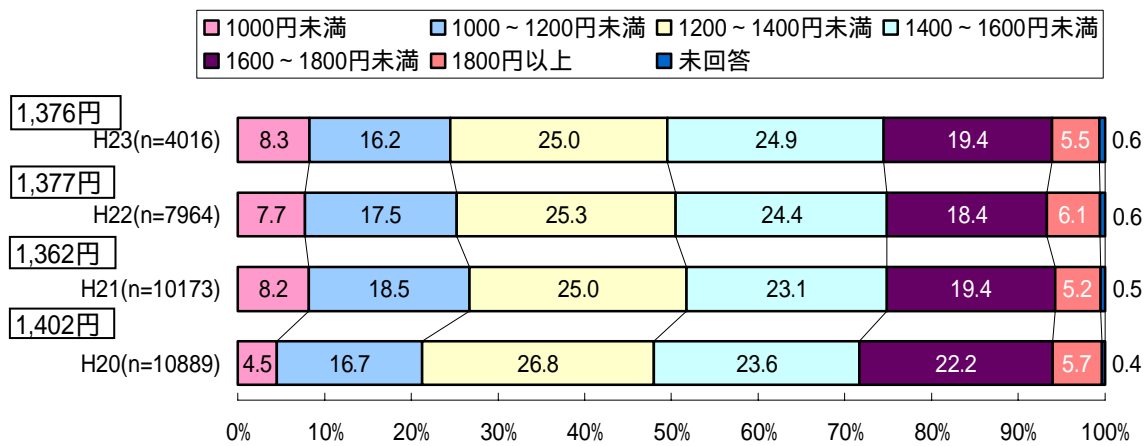


平均時給を各年度で「事務・販売系」と「製造・軽作業系」別でみると、「事務・販売系」では（平均1,402円→1,362円→1,377円→1,376円）、「製造・軽作業系」では（平均1,063円→1,062円→1,035円→1,026円）となっている。

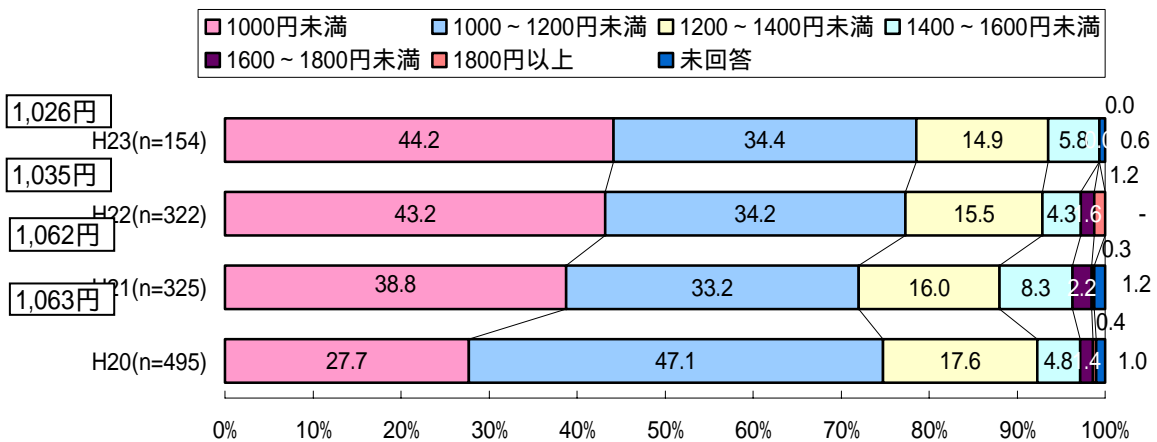
平成23年度の「事務・販売系」では、前年度と比べ、平均額でほとんど差がなかった。一方、「製造・軽作業系」では、「1000円未満」が増加しているため（43.2%→44.2%[1.0%増]）、平均額に若干影響が生じたところである。

近年の経済不況に伴う派遣先の経営状況の悪化・東日本大震災等の影響により、依然として雇用状況は厳しく低調であるが、前年度と比べると、全体としては、震災復興需要等により、派遣労働者の1週間の平均勤務時間数や1ヵ月の平均勤務日数が回復しているように、賃金の下げ止まりがうかがわれる。（関連P34 Q4(4)-b,c）。

事務・販売系（時給）



製造・軽作業系（時給）

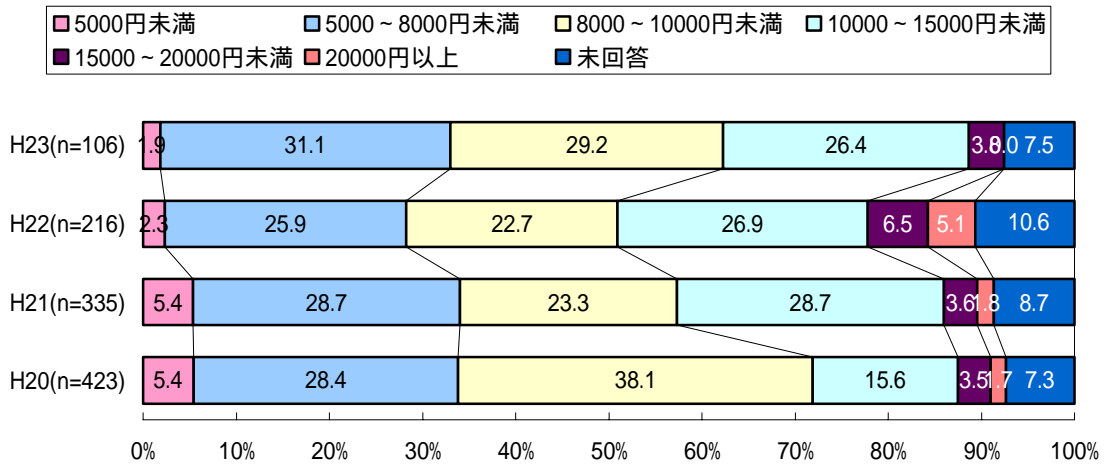


2. 日給

賃金の支給方法が「日給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「5000～8000円未満」が31.1%と最も多く、次いで「8000～10000円未満」29.2%、「10000～15000円未満」26.4%となっている。

平均日給についてみると、平成23年度は8,876円、平成22年度は10,030円、平成21年度は平均9,070円、平成20年度8,438円となっている。

平均日給は、前年度と比べると、「15000円以上」が大幅に減少したことで下降している。

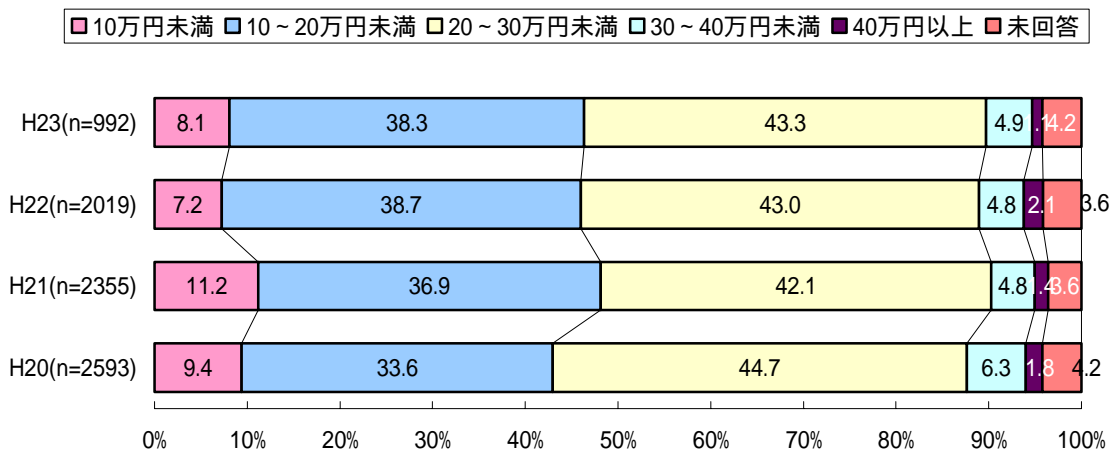


3. 月給 ※小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：20.3万円→20万円

賃金の支給方法が「月給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「20～30万円未満」が43.3%と最も多く、次いで「10～20万円未満」38.3%となっている。

平均月給についてみると、平成23年度は18.8万円、平成22年度は19.3万円、平成21年度は18.6万円、平成20年度19.5万円となっている。

平均月給は、前年度と比べると、10万円未満が増加したことで下降している。

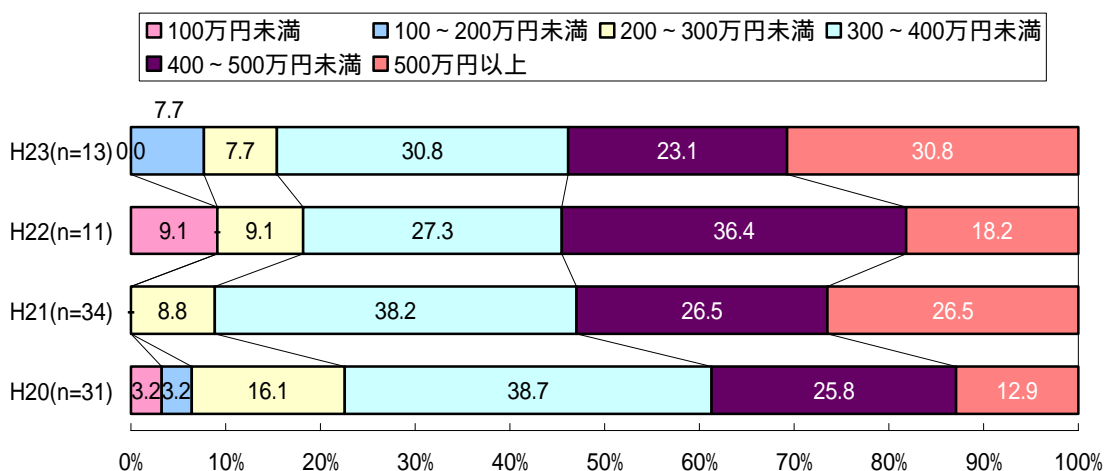


4. 年俸額 ※小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：300.5万円→301万円

賃金の支給方法が「年俸制」と回答した者に、年俸額を尋ねた結果、「500万円以上」及び「300～400万円未満」が30.8%と最も多く、次いで「400～500万円未満」が23.1%、「200～300万円」及び「100～200万円」が7.7%となっている。

平均年収についてみると、平成23年度は466.3万円、平成22年度は380.5万円、平成21年度は423.6万円、平成20年度360.3万円となっている。

※母数が少ないため参考値



都道府県別・業務の種類別の平均時給

都道府県全体の平均時給は1,363円となっている。都道府県別では、東京が最も高く1,554円となっている。地域的には、首都圏が高く、続いて東海と近畿となっている。

業務の種類別では、26業務全体の平均時給は1,418円となっており、「【1号】ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー」が1,949円と最も高く、次いで「【25号】セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業」が1,821円となっている。政令で定める26業務以外の業務では、平均時給は1,231円となっており、「【その他金融業務】窓口・接客等の業務」が1,381円と最も高く、次いで「【医療】医療事務、医療関連業務、介護関連業務」が1,332円となっている。

	調査数 (n)	全体	10000円未満	10000円未満	12000円未満	14000円未満	16000円未満	18000円以上	無回答	平均(円)
全体	4,170	100.0	9.6	16.9	24.7	24.2	18.7	5.3	0.6	1363.5
北海道	90	100.0	36.7	48.9	11.1	2.2	-	1.1	-	1050.3
青森県	21	100.0	61.9	19.0	4.8	9.5	-	4.8	-	1024.3
岩手県	14	100.0	21.4	42.9	21.4	7.1	7.1	-	-	1146.8
宮城県	97	100.0	25.8	53.6	16.5	2.1	-	2.1	-	1082.5
秋田県	9	100.0	33.3	66.7	-	-	-	-	-	1046.1
山形県	13	100.0	69.2	23.1	7.7	-	-	-	-	905.0
福島県	30	100.0	40.0	46.7	13.3	-	-	-	-	991.0
茨城県	45	100.0	13.3	20.0	37.8	11.1	15.6	2.2	-	1275.8
栃木県	38	100.0	21.1	21.1	36.8	10.5	2.6	7.9	-	1258.3
群馬県	13	100.0	30.8	38.5	23.1	7.7	-	-	-	1074.6
埼玉県	136	100.0	5.9	10.3	38.2	32.4	11.0	1.5	0.7	1345.2
千葉県	125	100.0	8.8	12.0	33.6	34.4	8.0	3.2	-	1337.6
東京都	1,655	100.0	2.4	5.5	8.8	33.1	39.5	9.9	0.8	1553.8
神奈川県	265	100.0	6.0	9.1	17.0	43.4	18.5	6.0	-	1431.9
新潟県	23	100.0	43.5	52.2	4.3	-	-	-	-	991.3
山梨県	4	100.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	1037.5
富山県	11	100.0	27.3	45.5	27.3	-	-	-	-	1055.5
石川県	13	100.0	23.1	46.2	23.1	-	-	7.7	-	1123.8
福井県	3	100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	-	963.3
長野県	16	100.0	6.3	31.3	50.0	6.3	-	-	6.3	1212.7
岐阜県	30	100.0	20.0	3.3	66.7	6.7	-	3.3	-	1233.0
静岡県	61	100.0	3.3	31.1	54.1	4.9	3.3	1.6	1.6	1231.8
愛知県	380	100.0	7.9	7.4	59.5	18.7	3.2	2.6	0.8	1303.4
三重県	31	100.0	6.5	12.9	71.0	6.5	3.2	-	-	1243.2
滋賀県	28	100.0	10.7	35.7	39.3	10.7	3.6	-	-	1197.8
京都府	70	100.0	12.9	27.1	41.4	11.4	2.9	1.4	2.9	1199.9
大阪府	423	100.0	6.9	13.0	45.9	29.1	4.0	0.9	0.2	1305.7
兵庫県	122	100.0	8.2	21.3	44.3	19.7	4.1	1.6	0.8	1253.6
奈良県	16	100.0	37.5	18.8	31.3	-	6.3	6.3	-	1164.0
和歌山県	8	100.0	12.5	50.0	37.5	-	-	-	-	1153.1
鳥取県	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	830.0
岡山県	26	100.0	30.8	53.8	11.5	3.8	-	-	-	1045.0
香川県	17	100.0	17.6	29.4	47.1	5.9	-	-	-	1165.6
徳島県	5	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-	1064.0
愛媛県	51	100.0	47.1	41.2	7.8	-	-	2.0	2.0	972.0
高知県	3	100.0	-	66.7	33.3	-	-	-	-	1083.3
島根県	4	100.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	1020.0
広島県	83	100.0	19.3	61.4	18.1	-	-	1.2	-	1073.3
山口県	17	100.0	5.9	76.5	11.8	-	-	-	5.9	1064.4
福岡県	98	100.0	7.1	63.3	20.4	4.1	2.0	2.0	1.0	1147.8
佐賀県	9	100.0	33.3	33.3	22.2	-	-	11.1	-	1147.9
長崎県	3	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	940.0
熊本県	16	100.0	31.3	56.3	12.5	-	-	-	-	1018.1
大分県	13	100.0	38.5	53.8	-	7.7	-	-	-	996.9
宮崎県	9	100.0	33.3	55.6	11.1	-	-	-	-	986.7
鹿児島県	17	100.0	29.4	52.9	11.8	-	-	-	5.9	1018.8
沖縄県	8	100.0	62.5	25.0	12.5	-	-	-	-	920.0

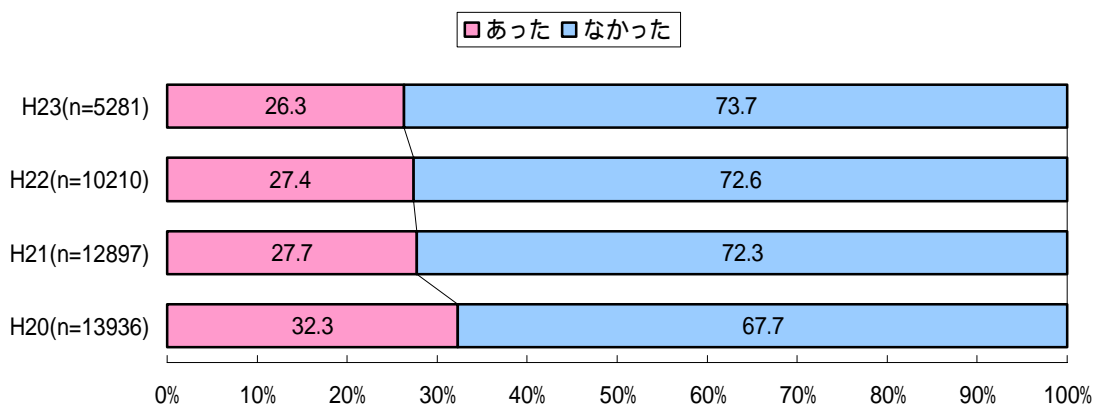
	調査数 (n)	全体	10000円未満	10000円未満 10000円未満	12000円未満 14000円未満	14000円未満 16000円未満	16000円未満 18000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)
全体	4,170	100.0	9.6	16.9	24.7	24.2	18.7	5.3	0.6	1,363.5
[1号]ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	45	100.0	-	-	6.7	13.3	17.8	60.0	2.2	1,949.1
[2号]機械設計(CADオペレーター等)	57	100.0	-	19.3	22.8	26.3	22.8	8.8	-	1,455.6
[5号]OA事務、英文事務、PCオペレーター、金融事務、ネットワーク構築、WEB作成	1,760	100.0	5.8	13.9	26.7	26.6	22.9	3.5	0.6	1,390.7
[6号]通訳・翻訳・速記	42	100.0	-	2.4	4.8	23.8	28.6	40.5	-	1,743.7
[7号]秘書	73	100.0	-	12.3	8.2	24.7	43.8	9.6	1.4	1,545.7
[8号]専門的文書ファイリング	15	100.0	13.3	26.7	26.7	26.7	6.7	-	-	1,232.7
[9号]市場調査	7	100.0	28.6	57.1	-	14.3	-	-	-	1,067.1
[10号]財務処理	165	100.0	4.2	9.7	21.8	32.7	27.9	2.4	1.2	1,445.2
[11号]貿易・国際業務、営業事務(国内取引文書作成)	306	100.0	2.6	14.1	32.4	26.8	19.6	3.6	1.0	1,390.8
[12号]デモンストレーション(高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)	6	100.0	-	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	1,533.3
[13号]添乗	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
[14号]建築物清掃	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
[15号]建築設備運転、点検、整備	2	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	1,250.0
[16号]受付・案内、駐車場管理等	98	100.0	22.4	19.4	25.5	19.4	13.3	-	-	1,228.7
[17号]研究開発	56	100.0	1.8	3.6	16.1	55.4	19.6	3.6	-	1,476.5
[18号]事業の実施体制の企画、立案	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
[19号]制作・編集・校正、DTPデザイン	41	100.0	2.4	14.6	14.6	31.7	26.8	9.8	-	1,459.3
[20号]広告デザイン	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
[WEBデザイン複合]WEBデザイン(19号or20号)、CGデザイン(19号or20号)、【その他クリエイティブ業務】	19	100.0	5.3	5.3	-	31.6	47.4	10.5	-	1,540.4
[21号]インテリアコーディネータ	2	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	1,400.0
[23号]OAインストラクター(ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む)、【その他IT技術・通信系業務】	129	100.0	2.3	11.6	15.5	20.9	18.6	30.2	0.8	3,243.1
[24号]テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	100	100.0	5.0	23.0	33.0	24.0	12.0	3.0	-	1,310.6
[25号]セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	14	100.0	-	-	21.4	14.3	14.3	50.0	-	1,821.4
[3、4、22、26号]放送関連業務	5	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-	-	1,218.6
26業務平均										1,418.4

	調査数 (n)	全体	10000円未満	10000}12000円未満	12000}14000円未満	14000}16000円未満	16000}18000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)
【オフィス・その他】データ入力 (キー入力のみ)、庶務事務 (OA業務は含まず)、その他オフィス業務	742	100.0	15.6	22.9	25.3	21.4	12.4	1.5	0.8	1,261.1
【営業・その他サービス】その他営業・販売・サービス	169	100.0	20.7	22.5	34.3	12.4	5.3	3.6	1.2	1,206.1
【その他金融業務】窓口・接客等の業務	46	100.0	6.5	15.2	19.6	34.8	21.7	2.2	-	1,381.1
【製造・軽作業】製造 (ライン業務・生産管理等)、各種運手、軽作業 (会場設営・引越し等)、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	154	100.0	44.2	34.4	14.9	5.8	-	-	0.6	1,026.4
【医療】(医療事務、医療関連業務、看護関連業務)	52	100.0	17.3	30.8	15.4	15.4	11.5	9.6	-	1,332.8
【介護・福祉】介護・福祉関連業務	16	100.0	31.3	37.5	31.3	-	-	-	-	1,075.6
【その他専門職】	49	100.0	18.4	24.5	12.2	22.4	10.2	12.2	-	1,322.1
26業務以外平均										1,231.7

(3) 現在（または直近）の就業先において、働き始めてから昇給はありましたか？

「なかった」が73.7%、「あった」が26.3%となっている。
前年度と比べると、「あった」の割合はほぼ同様である。

現在（または直近）の就業先において通算した就業期間（Q2(10)）（通算就業期間）で見ると、「2年以上」になると「昇給があった」率が、全体の構成比率26.3%を上回っており、「2年以上3年未満」では35.6%、「3年以上5年未満」47.8%、「5年以上」では72.8%と上昇している。通算就業期間が長くなるほど昇給を行う派遣元事業主が多くなる状況がうかがえる。



<通算就業期間別昇給の有無>

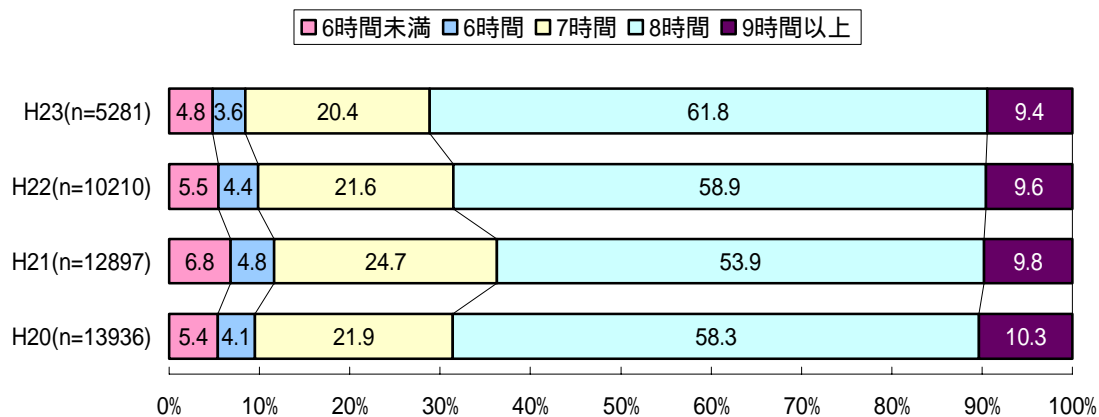
昇給の有無

通算就業期間
P19 Q2(10)

	調査数 (n)	全体	あった	なかった
全体	5,281	100.0	26.3	73.7
2ヵ月以下	773	100.0	2.5	97.5
2ヵ月超6ヵ月未満	810	100.0	5.2	94.8
6ヵ月以上1年未満	876	100.0	10.3	89.7
1年以上2年未満	851	100.0	21.5	78.5
2年以上3年未満	511	100.0	35.6	64.4
3年以上5年未満	757	100.0	47.8	52.2
5年以上	703	100.0	72.8	27.2

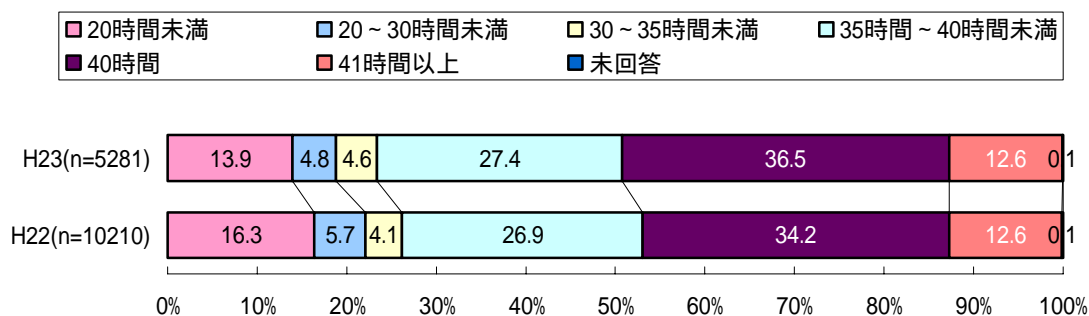
- (4) 現在（または直近）の勤務状況についてお答えください。
 a. 1日の平均勤務時間についてお答えください。

「8時間」が61.8%と最も多く、次いで「7時間」20.4%、「9時間以上」9.4%となっており、1日の平均勤務時間7時間以上が9割を占めている。1日勤務時間を平均すると、前年度と同様7.7時間である。



- b. 1週間の平均勤務時間についてお答えください。

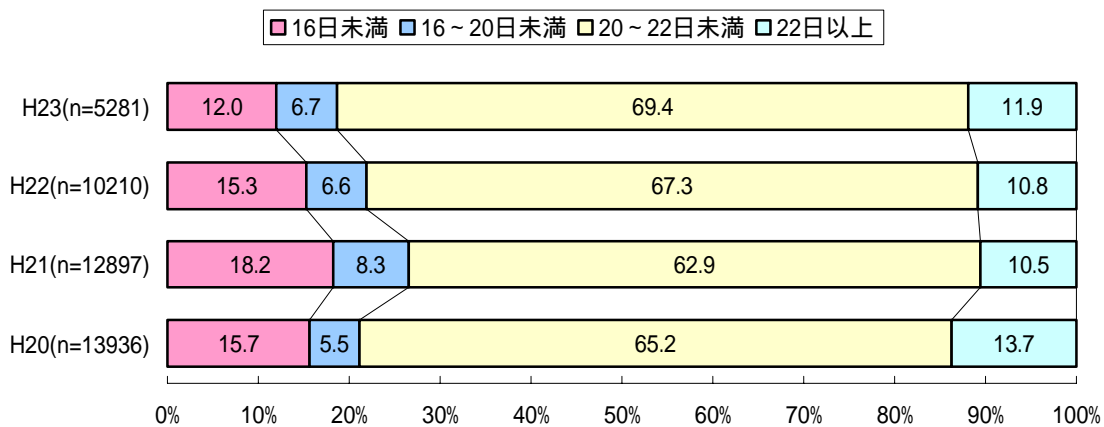
「40時間」が36.5%と最も多く、次いで「35時間～40時間未満」27.4%となっている。
 全体平均すると、34.5時間となっている。前年度と比べると、0.8時間増加している。



c. 1カ月の平均勤務日数についてお答えください。

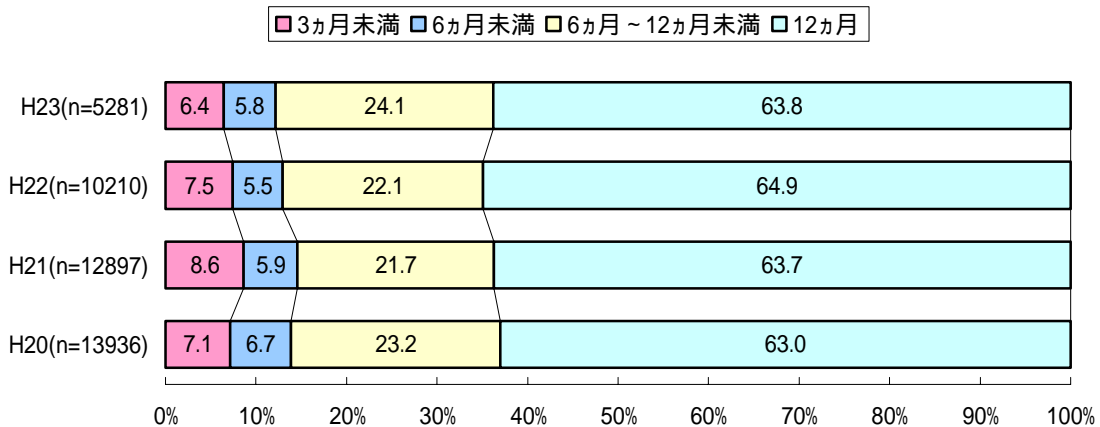
「20～22日未満」が69.4%と最も多く、次いで「16日未満」12.0%となっている。1カ月の平均勤務日数の「20日以上」が8割強を占めている。全体平均すると、18.8日となっている。前年度の全体平均は18.4日であった。

前年度と比べると、1週間の平均勤務時間と1カ月の平均勤務日数「20日以上」が回復しており、近年の経済不況に伴う派遣先の経営状況の悪化等による仕事量、業務量が持ち直していることがうかがわれる。



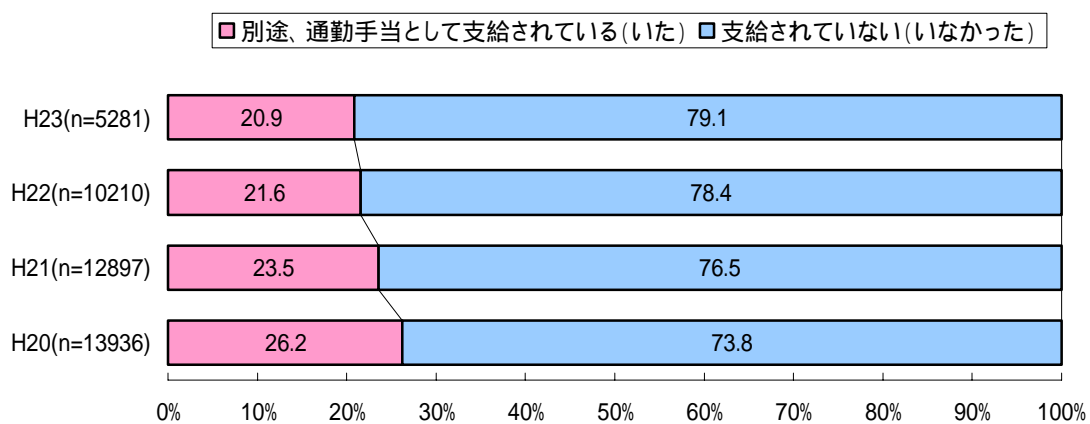
d. 1年間の実働月数についてお答えください。

「12ヵ月」が63.8%と最も多く、次いで「6ヵ月～12ヵ月未満」24.1%、「3ヵ月未満」6.4%となっている。平均実働月数についてみると、10.2ヵ月となっている。前年度の平均は10.1ヵ月であった。



(5) 通勤手当（交通費）は支給されていますか（いましたか）？

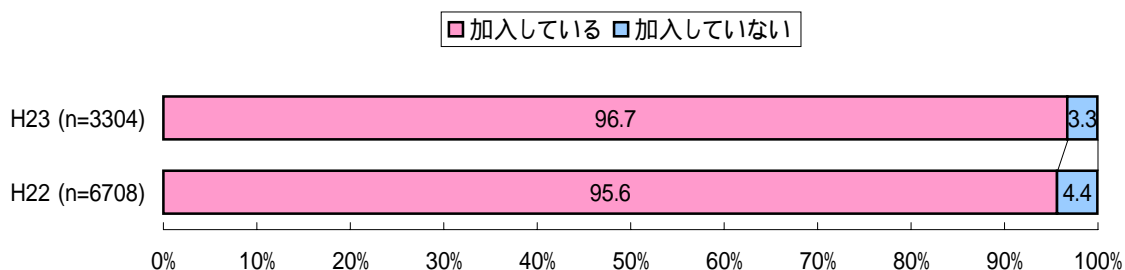
「支給されていない」が79.1%、「別途、通勤手当として支給されている」が20.9%となっている。
前年度と比べると、「支給されている」割合が減っている。



(6) 雇用保険には加入していますか（いましたか）？

被保険者資格要件を満たしている者（注）の雇用保険の加入状況は、「加入している」が96.7%、「加入していない」が3.3%となっている。

前年度に比べると、加入率が1.1ポイント向上した。



※ 平成22年度から「被保険者資格者」について雇用保険の適用要件に沿った調査項目に変更したため、平成22年度以降の掲載とした。

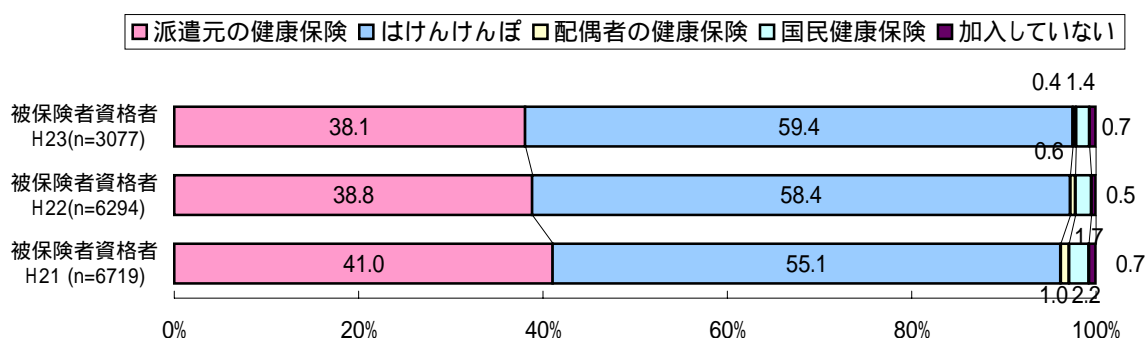
(注) 派遣労働者等の雇用保険の適用範囲が平成22年4月1日から拡大され、31日以上雇用見込みがあること及び1週間当たりの所定労働時間が20時間以上である就労者については、原則として雇用保険の被保険者とされている。

そのため、できる限り実態に即した調査結果が反映できるよう調査項目にある契約内容が「1ヵ月未満」及び「1週20時間未満」の就労状況の者を除いた。

(7) 健康保険には加入していますか (いましたか) ?

被保険者資格要件を満たしている者 (注) の健康保険加入状況は、「人材派遣健康保険組合 (はけんけんぽ) に加入している」が59.4%と最も多く、次いで「派遣元の健康保険 (自分名義) に加入している」38.1%となっており、両者を合わせると97.5%となっている。

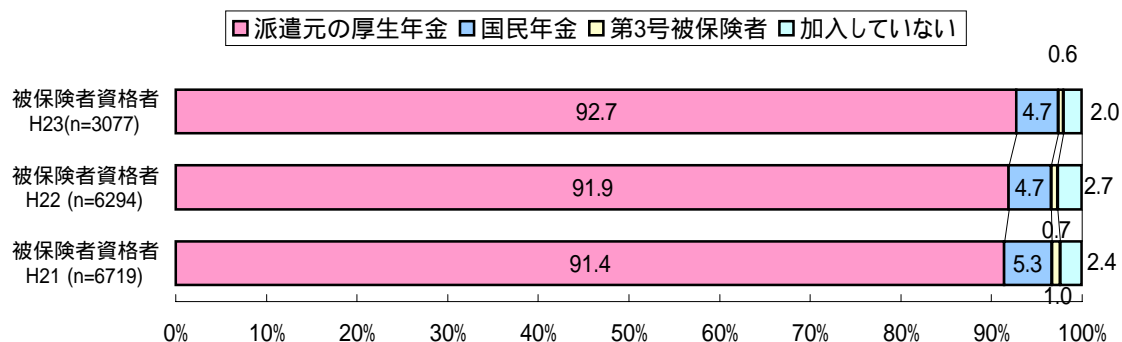
前年度と比べると、加入率が0.3ポイント向上した。



(8) 公的年金には加入していますか (いましたか) ?

被保険者資格要件を満たしている者 (注) の公的年金加入状況は、全体では、「派遣元会社の厚生年金 (自分名義) に加入している」が92.7%となっている。

前年度に比べると、加入率が0.8ポイント向上した。



※ 平成22年度から「被保険者資格者」について健康保険・公的年金の加入要件に沿った調査項目に変更したため、平成21年度以降の掲載とした。

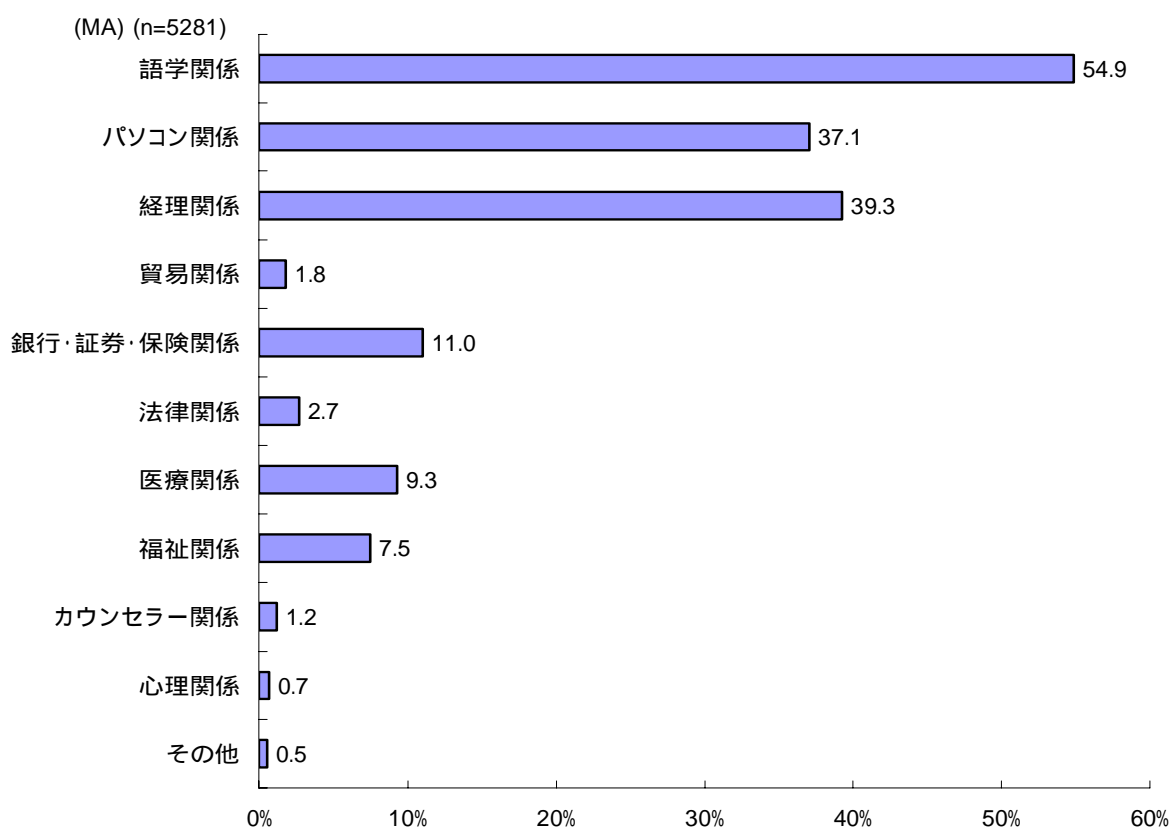
(注) 1日又は1週間の所定労働時間及び1か月の所定労働日数が、その事業所で同種の業務を行う通常の労働者の概ね4分の3以上である場合は、原則として健康保険及び厚生年金保険の被保険者とされている。

そのため、被保険者の適用除外となる「2ヵ月以内」及び労働時間等が4分の3基準に達しない「1日6時間未満」・「月16日未満」の就労状況の者を除いた。

Q. 5 能力開発・キャリア形成

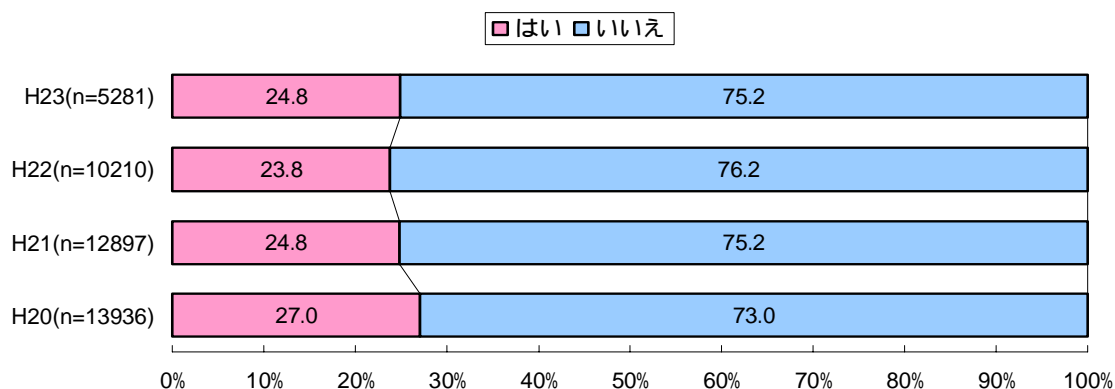
(1) 現在所有している資格があればお答えください。(複数回答)

現在所有している資格をカテゴリ別でみると、「語学関係」が54.9%と最も多く、次いで「経理関係」39.3%、「パソコン関係」37.1%となっている。



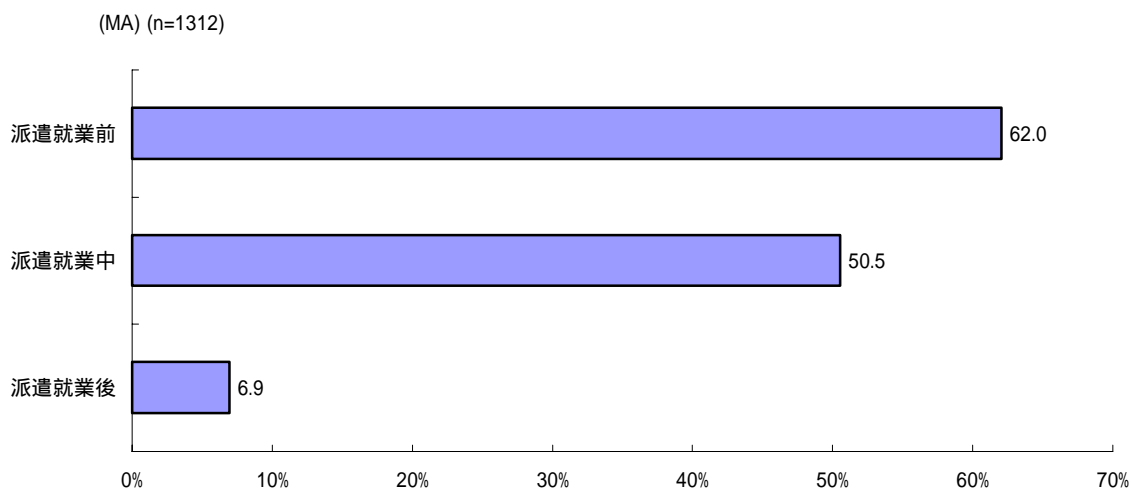
(2) 派遣会社で研修・教育訓練を受けたことはありますか？

「いいえ」が75.2%、「はい」が24.8%となっている。
前年度と比べると、「はい」が若干増えている。



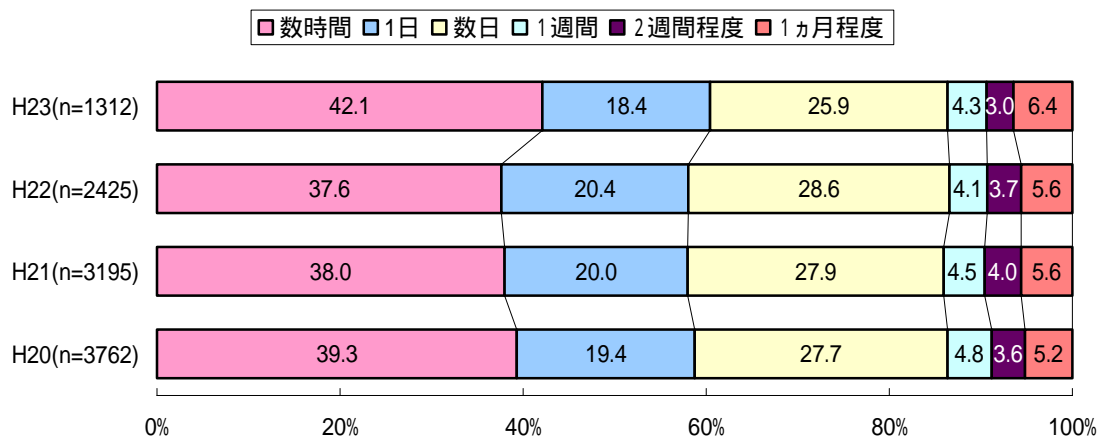
- (2) で、1. はい を選択した方はお答えください。
 (2) -A-a : 教育訓練はいつ頃行われましたか？ (複数回答)

「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、いつ行われたかを尋ねた結果、「派遣就業前」が62.0%と最も多く、次いで「派遣就業中」50.5%となっている。



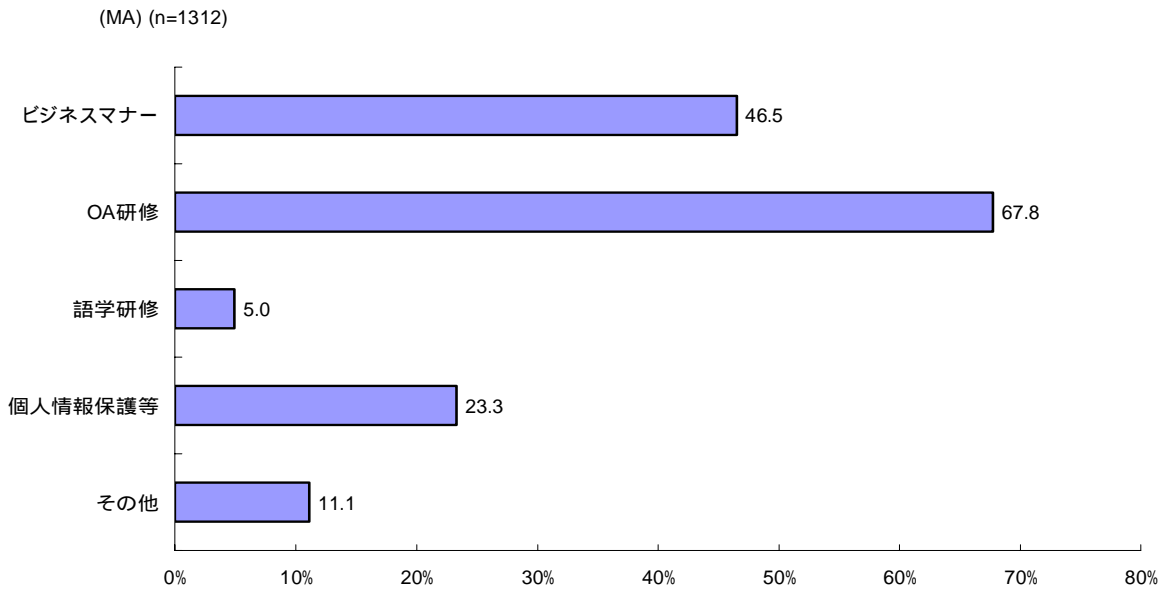
- (2) -A-b : 教育訓練の期間はどのくらいでしたか？

「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、期間を尋ねた結果、「数時間」が42.1%と最も多く、次いで「数日」25.9%、「1日」18.4%となっている。
 前年度と比べると、若干教育訓練の期間が短くなっている。



(2) -A- c : 教育訓練の内容はどのようなものでしたか？ (複数回答)

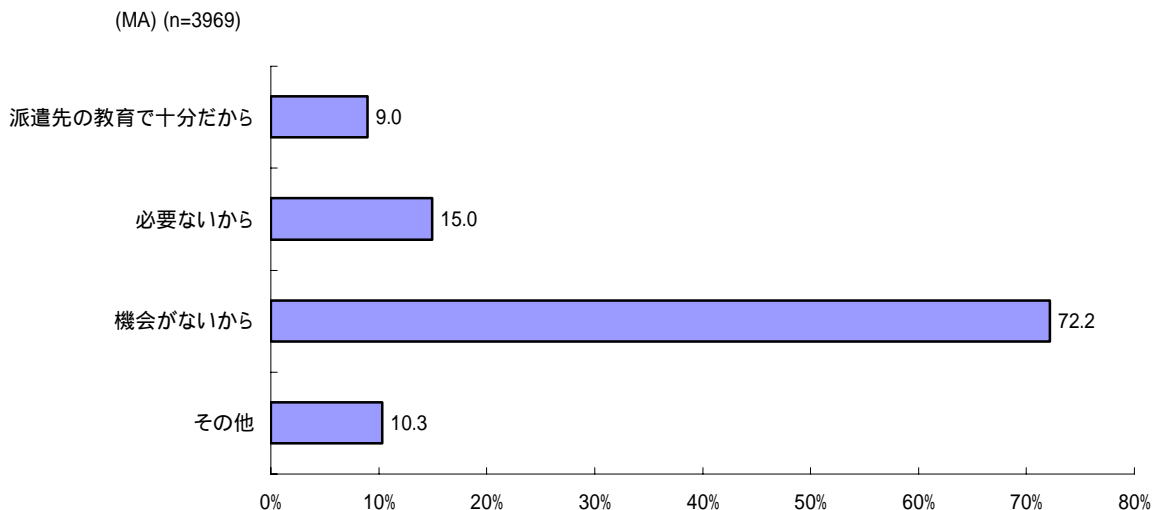
「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、その内容を尋ねた結果、「OA研修」が67.8%と最も多く、次いで「ビジネスマナー」46.5%、「個人情報保護等」23.3%となっている。



(2) で、2.いいえ を選択した方はお答えください。

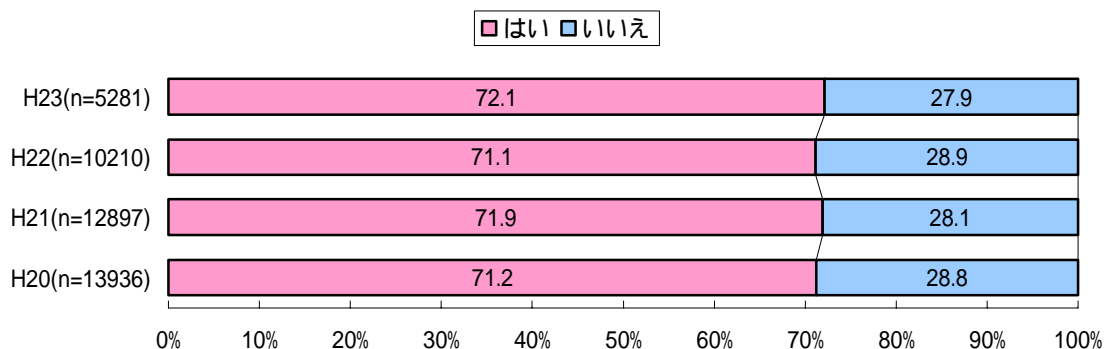
(2) -B- a : 教育訓練を受けない (受けなかった) のはなぜですか？ (複数回答)

「研修・教育訓練を受けたことがない」と回答した者に、その理由を尋ねた結果、「機会がないから」が72.2%と他を大きく上回った。
派遣会社としては、派遣スタッフが教育訓練を希望した場合に備えて、施策を効果的に講じる必要がある。



(3) 能力開発・キャリア形成を希望していますか？

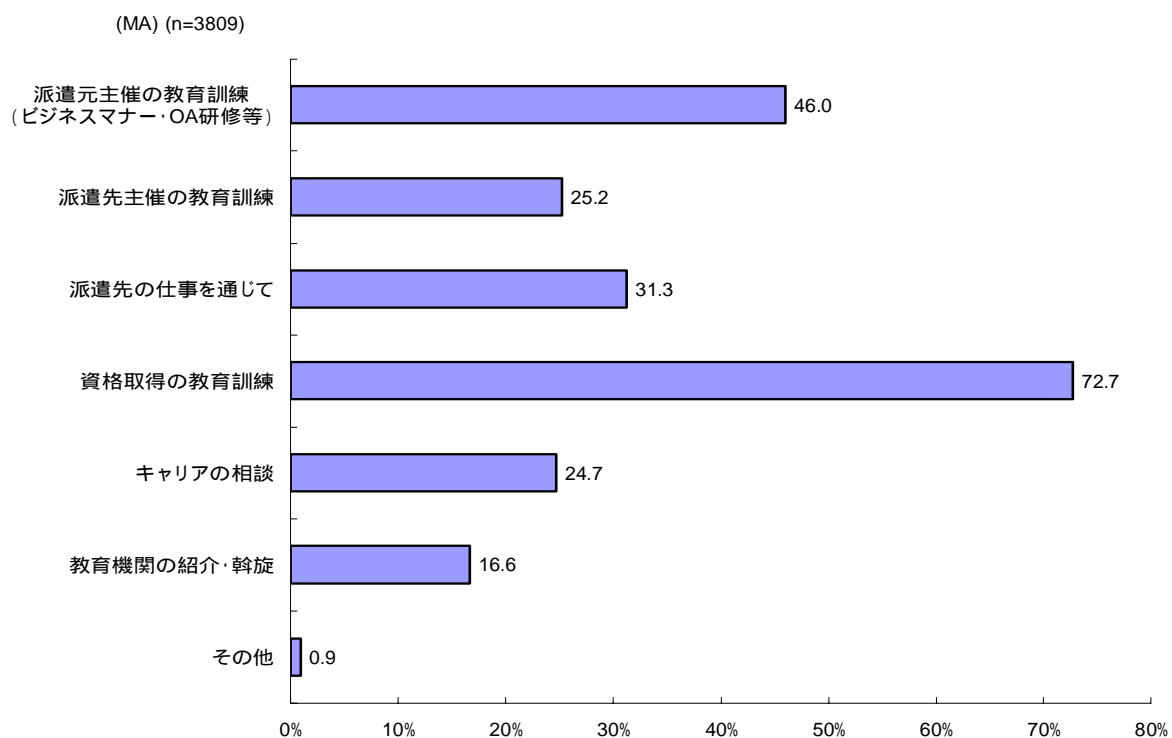
「はい」が72.1%と多く、「いいえ」は27.9%となっている。
前年度と比べると、「はい」が若干増えている。



(3) で、1. はい を選択した方はお答えください。

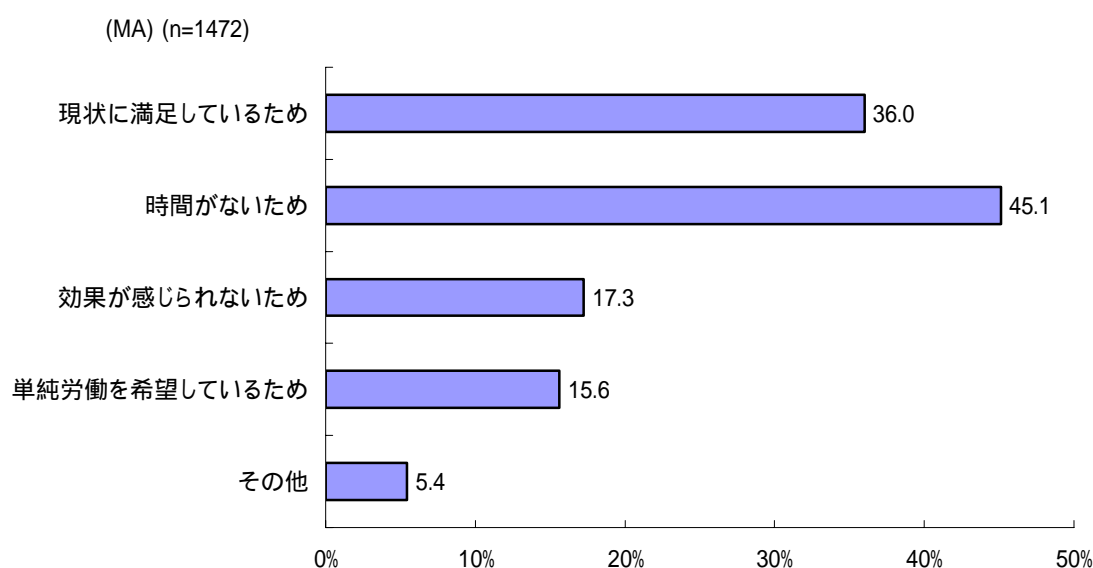
(3) -A: どのような内容を希望しますか？ (複数回答)

「能力開発・キャリア形成を希望する」と回答した者に、その希望する内容を尋ねた結果、「資格取得の教育訓練」が72.2%と最も多く、次いで「派遣元主催の教育訓練」46.0%、「派遣先の仕事を通じて」31.3%となっている。



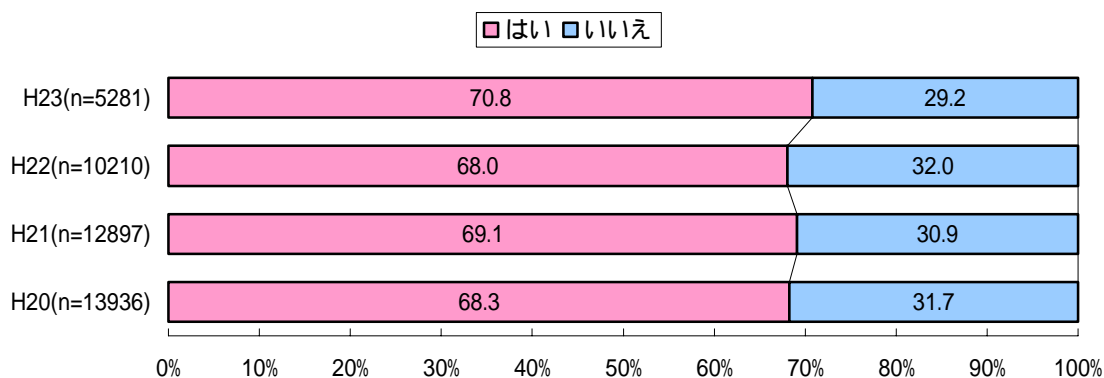
- (3) で、2. いいえ を選択した方はお答えください。
 (3) -B: 希望しないのはなぜですか? (複数回答)

「能力開発・キャリア形成を希望しない」と回答した者に、希望しない理由を尋ねた結果、「時間がないため」が45.1%と最も多く、次いで「現状に満足しているため」36.0%となっている。多くの方が自身としての能力開発に希望があるものの時間的な制約がネックとなっていることがうかがわれることから、スタッフとのコミュニケーションの中で時間を見出す工夫等について話し合うことも必要である。



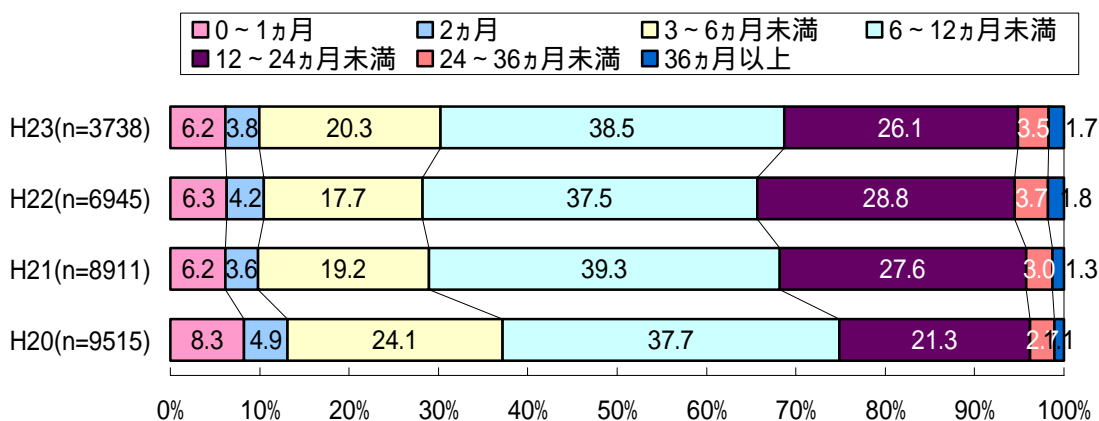
- (4) 派遣就労したことでスキルアップできる (できた) と感じますか?

「はい」が70.8%、「いいえ」が29.2%となっている。
 回答者の3人に2人の方は派遣就労したことがスキルアップにつながっていると感じている。
 前年度と比べると、ほぼ同様である。



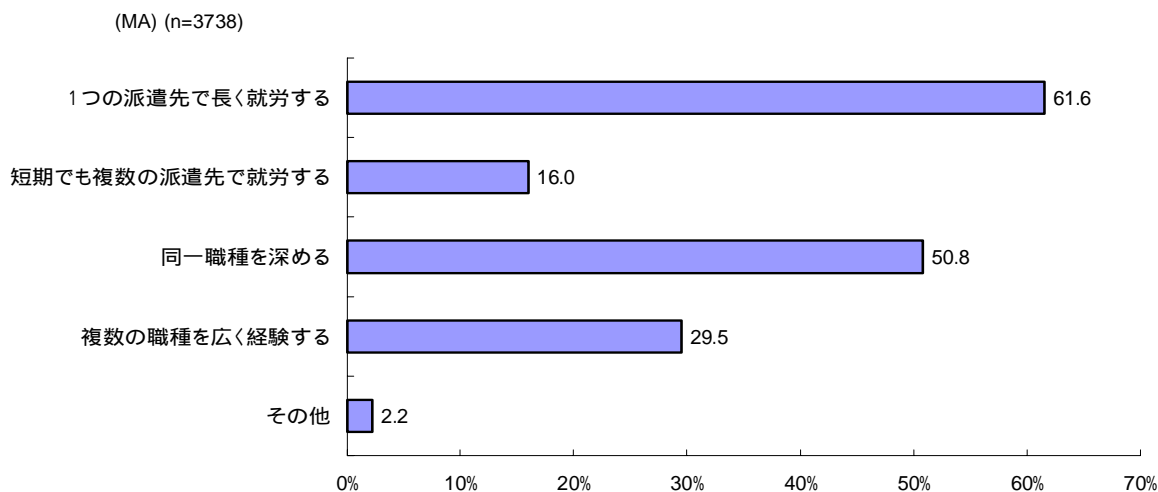
- (4) で、1. はい を選択した方はお答えください。
 (4) -A-a : スキルアップができる (できた) と実感するには就労後どのくらいの期間が必要ですか？

「派遣就労したことでスキルアップできる (できた)」と回答した者に、実感するまでの期間を尋ねた結果、「6～12ヵ月 (1年) 未満」が38.5%と最も多く、次いで「12～24ヵ月 (2年) 未満」26.1%、「3～6ヵ月未満」20.3%となっている。
 前年度と比べると、「12ヵ月未満」の割合が増えている。
 平均についてみると、平成23年度は7.9ヵ月、平成22年度は8.2ヵ月、平成21年度7.8ヵ月であった。



- (4) -A-b : あなたが希望するスキルアップの方法を教えてください。
 (複数回答)

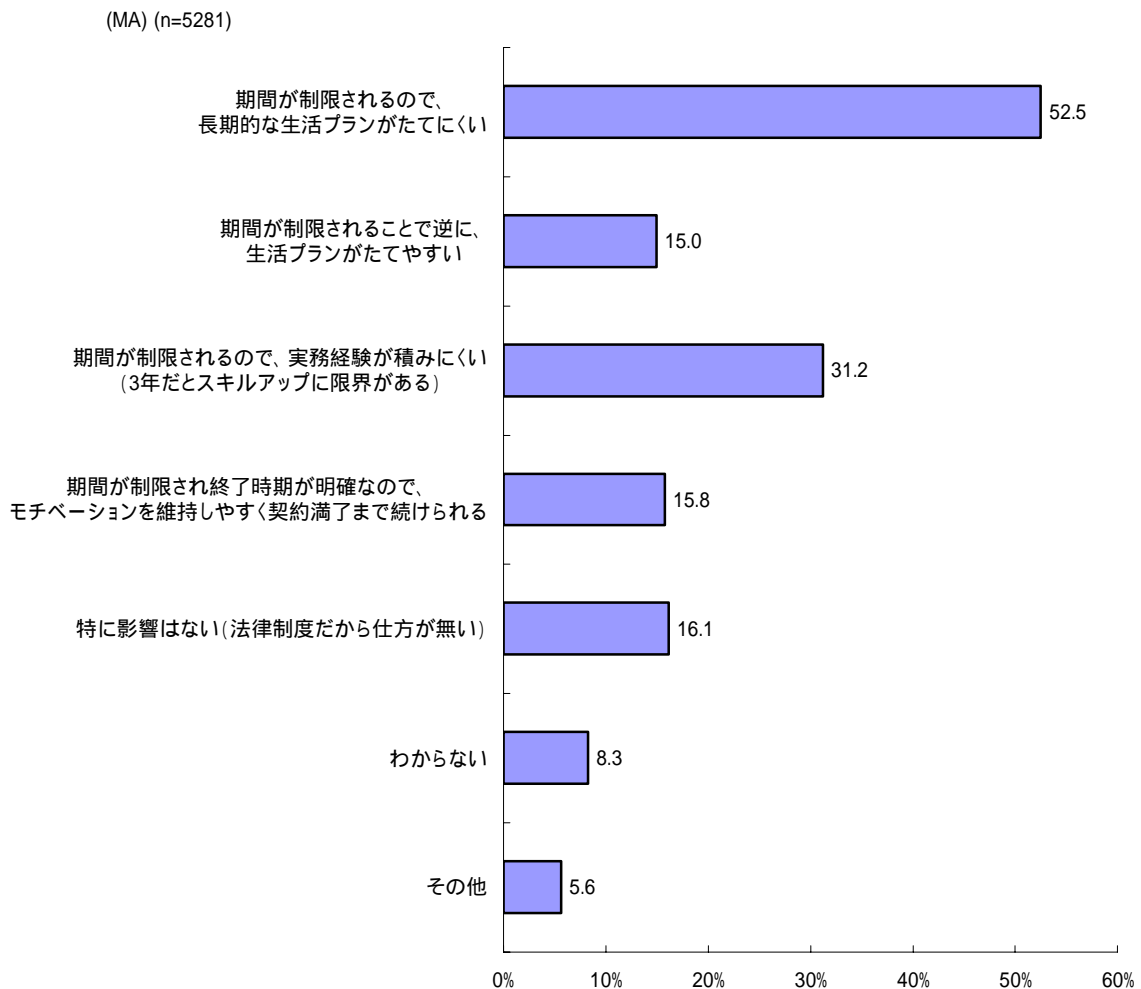
「派遣就労したことでスキルアップできる (できた)」と回答した者に、スキルアップの方法を尋ねた結果、「1つの派遣先で長く就労する」が61.6%と最も多く、次いで「同一職種を深める」50.8%、「複数の職種を広く経験する」29.5%となっている。
 同じ就業先で「長く」「深める」ことが、派遣就業でスキルアップしていく上で有効であることがうかがえる。



Q. 6 派遣法に関すること

(1) 派遣で働ける期間が制限されていることについてどうお考えですか？
(複数回答)

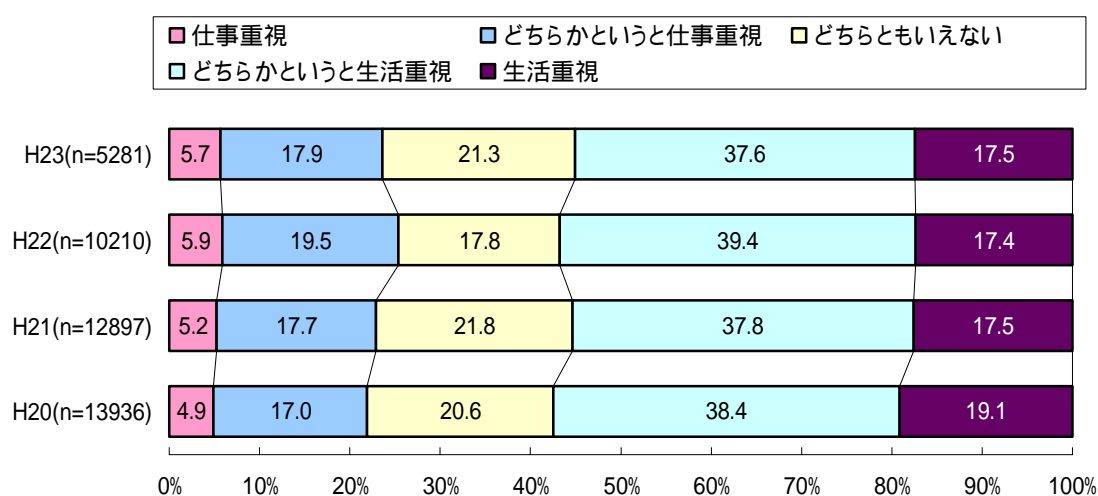
「期間が制限されるので、長期的な生活プランがたてにくい」が52.5%と最も多く、次いで「期間が制限されるので、実務経験が積みにくい(3年だとスキルアップに限界がある)」31.2%、「特に影響はない(法律制度だから仕方が無い)」16.1%、「期間が制限され終了時期が明確なので、モチベーションを維持しやすく契約満了まで続けられる」15.8%となっている。



Q.7 仕事と生活のバランス

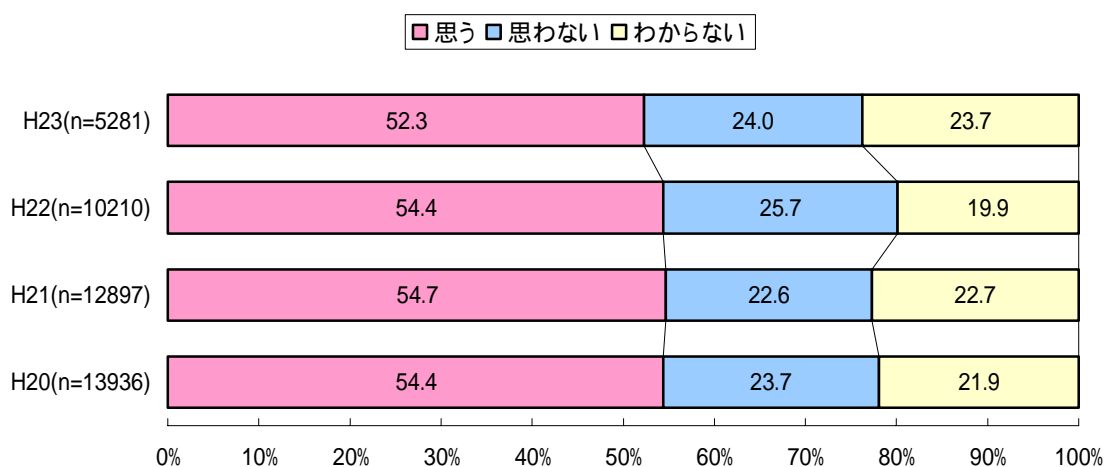
(1) 仕事と生活を比べると、どちらを重視していますか？

「どちらかという和生活重視」と「生活重視」を合わせると55.1%、「仕事重視」と「どちらかというと仕事重視」を合わせると23.6%となっており、「仕事重視」よりも「生活重視」を考えている派遣スタッフが多いことがうかがえる。



(2) 派遣という働き方は、仕事と生活のバランスを取りやすい働き方だと思いますか？

「思う」が52.3%、「思わない」が24.0%となっている。
回答者の2人に1人の方がワークライフバランスの観点からも派遣という働き方を選択していることがうかがわれる。
前年度と比べると、ほぼ同様である。



Q. 8 派遣で働いていることへの満足度

派遣で働いていることへの満足度をみていく。

満足度が高いのは、「5. 労働時間・休日数」67.5ポイント（満足19.7%、まあ満足46.3%、満足計 66.0%）、「1. 生活の充実感」51.1ポイント（満足12.3%、まあ満足48.7%、満足計 61.0%）、「9. 職場の人間関係」37.5ポイント（満足12.3%、まあ満足36.9%、満足計 49.2%）、「3. 仕事の内容」30.4ポイント（満足9.5%、まあ満足40.2%、満足計 49.7%）、「6. 派遣会社の対応」29.9ポイント（満足13.5%、まあ満足36.6%、満足計 50.1%）、「2. やりがい」9.0ポイント（満足7.3%、まあ満足34.6%、満足計 41.9%）となっている。

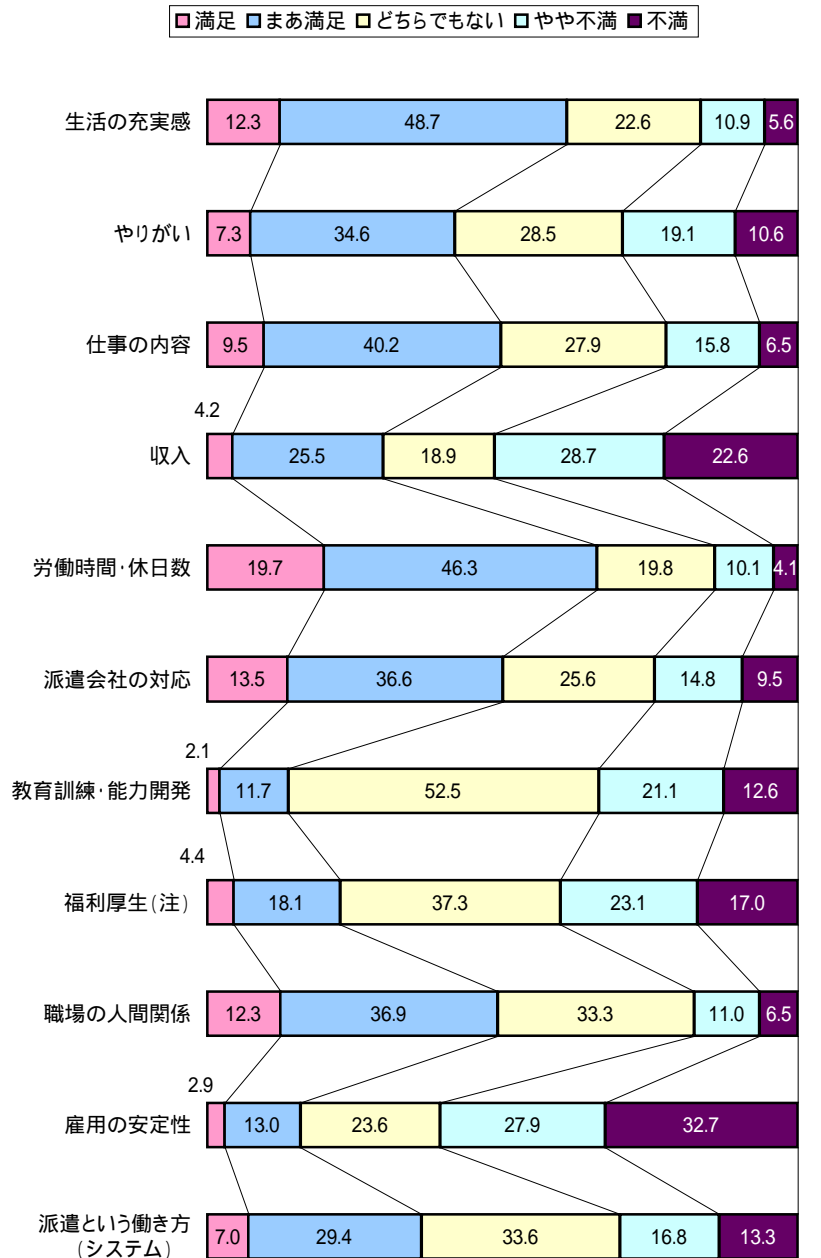
満足度が低いのは、「10. 雇用の安定性」-74.5ポイント（やや不満27.9%、不満32.7%、不満計 60.6%）、「4. 収入」-40.0ポイント（やや不満28.7%、不満22.6%、不満計 51.3%）、「7. 教育訓練・能力開発」-30.4ポイント（やや不満21.1%、不満12.6%、不満計 33.7%）、「福利厚生」-30.3ポイント（やや不満23.1%、不満17.0%、不満計 40.1%）となっている。

以上の満足度指数（ポイント）を、「派遣を選んだ理由（Q2(2)）」中の「正社員として働ける就職先がなかったため」派遣を選んだスタッフをみると、全体の満足度の高いポイントは総じて低くなり、満足度がマイナスになる項目はよりマイナスになっている。

他方、「正社員として働ける就職先がなかったため」を除き、派遣を積極的に選択した理由とのクロスでは、逆の指数となる。具体的には、「1. 生活の充実感」「2. やりがい」「3. 仕事の内容」「5. 労働時間・休日数」「6. 派遣会社の対応」「9. 職場の人間関係」「11. 派遣という働き方（システム）」で満足度が大きくプラスとなっている。

派遣元としては、派遣就労を選択した理由や動機に着目し、適切な対応が肝要と思われる。

※ 満足度指数（ポイント）の算定は、回答者の中に占める各満足・不満足
の度合いを選択した人数の割合（%）を出し、一定の指数を乗じて、それ
ぞれを合計した数値である。計算上は、最大+200から最小-200の
幅がある。



派遣を選んだ理由

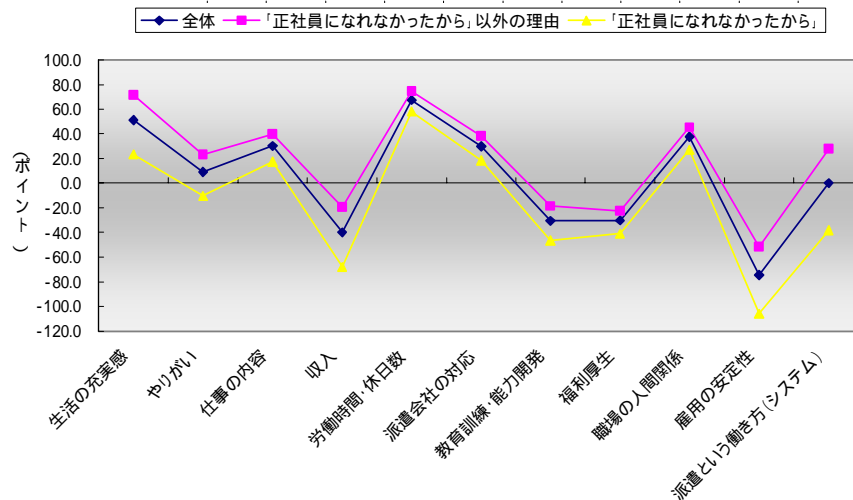
合計	正社員以外	正社員
51.1	71.5	23.3
9.0	23.2	-10.3
30.4	39.8	17.5
-40.0	-19.4	-68.1
67.5	74.6	57.9
29.9	38.2	18.6
-30.4	-18.7	-46.3
-30.3	-22.3	-41.1
37.5	45.2	27.1
-74.5	-51.6	-105.8
-0.1	27.7	-38.0

ポイント幅:

[+200 ← → -200]

ポイント算出し:

$$\begin{aligned}
 & \text{満足の割合}(\%) \times 2 \\
 & \text{まあ満足の割合}(\%) \times 1 \\
 & \text{どちらでもないの割合}(\%) \times 0 \\
 & \text{やや不満の割合}(\%) \times -1 \\
 & \text{不満の割合}(\%) \times -2 \\
 & \text{+)} \quad \text{合計}
 \end{aligned}$$

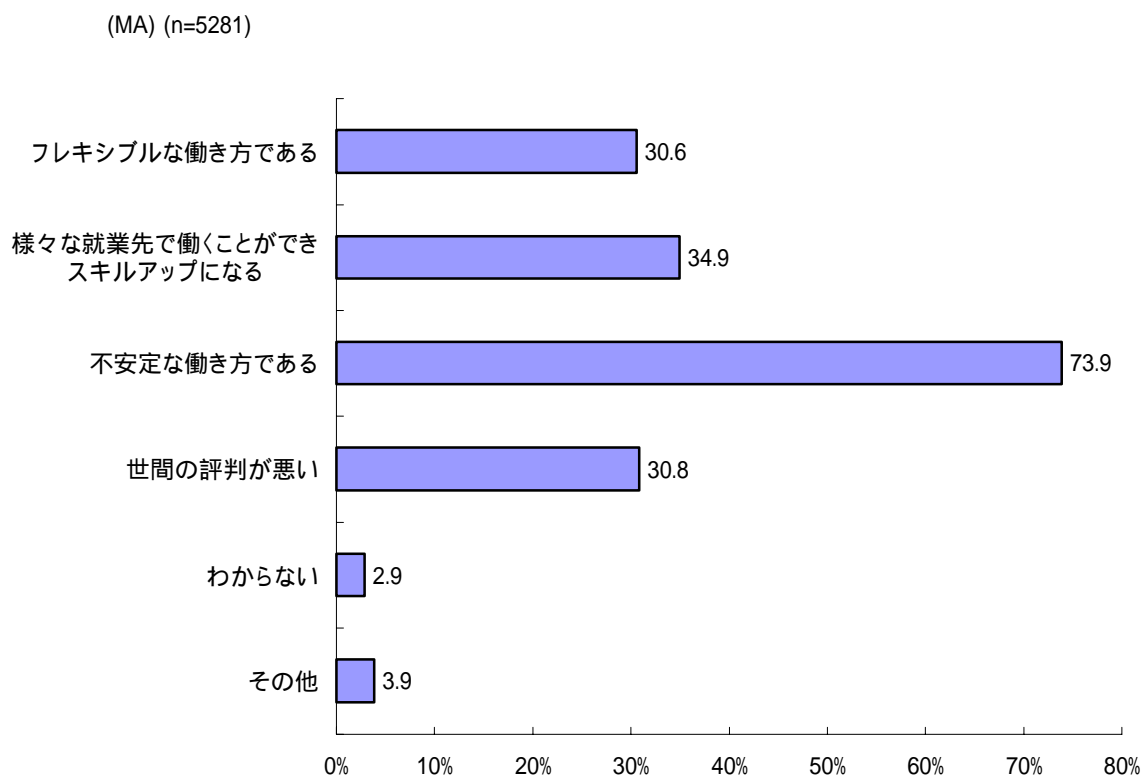


注: この「福利厚生」とは法定の社会保険等ではなく、保養所・社員食堂など施設の利用等である

Q. 9 派遣に対するイメージについて

(1) 派遣という働き方にどのようなイメージをお持ちですか？（複数回答）

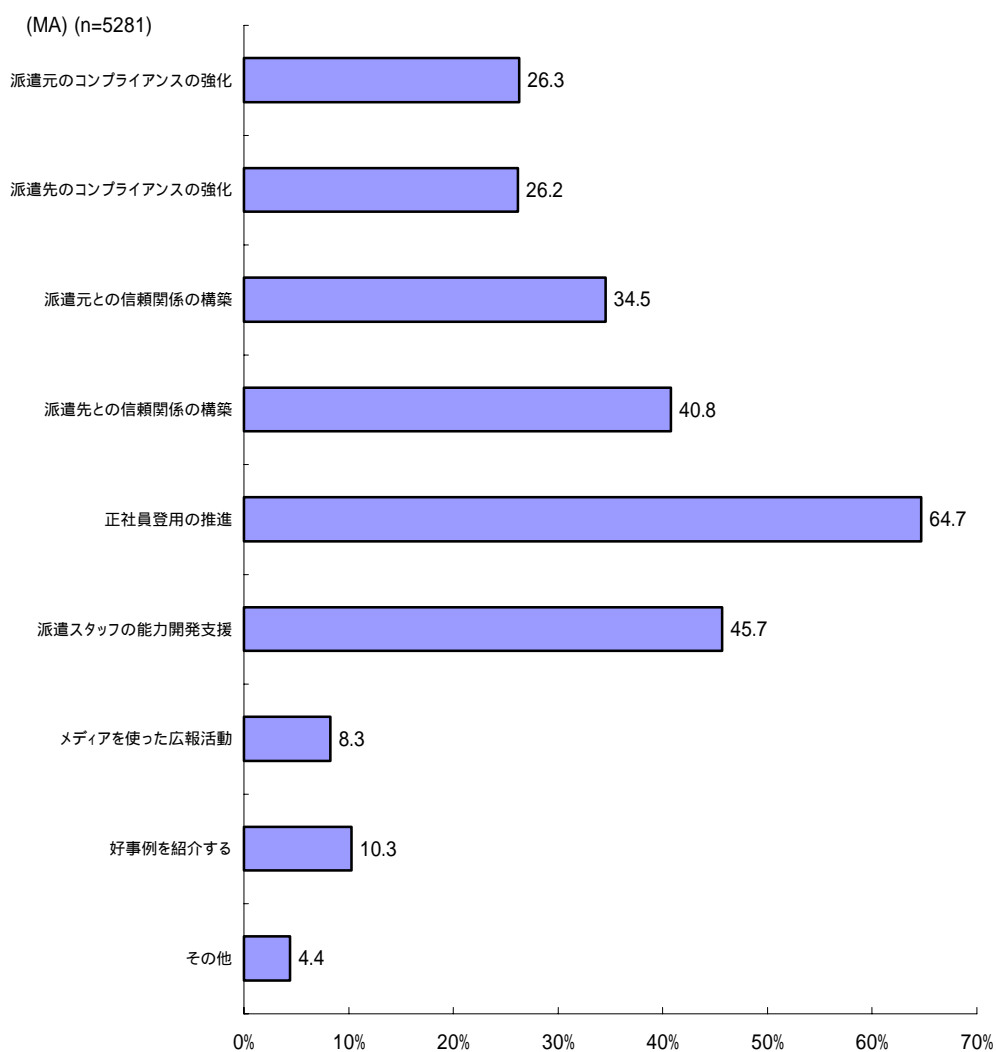
「不安定な働き方である」が73.9%と最も多く、次いで「様々な就業先で働くことができスキルアップになる」34.9%、「世間の評判が悪い」30.8%、「フレキシブルな働き方である。」30.6%となっている。



(2) 「派遣」の社会的地位を向上させるにはどのような方策が必要とされますか？
(複数回答)

「正社員登用の推進」が64.7%と最も多く、次いで「派遣スタッフの能力開発支援」45.7%、「派遣先との信頼関係の構築」40.8%となっている。

社会的地位の向上のためには、派遣というシステムが、派遣スタッフの希望する働き方に応じて、「直接雇用への橋渡し」、「能力開発支援」として機能するように積極的に応えていく取り組みが必要と考えられる。



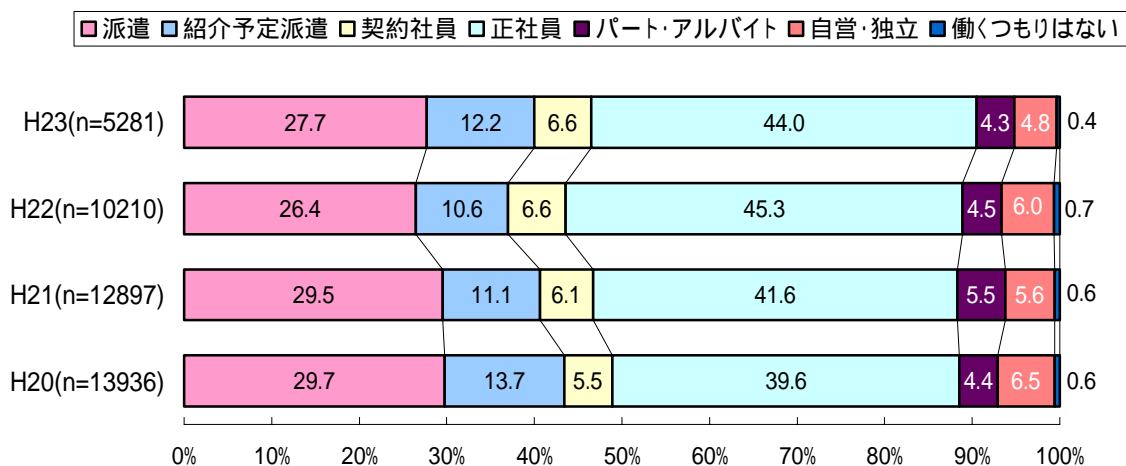
Q. 10 今後の希望する働き方について

(1) 今後、どのような働き方を望みますか？

「正社員」が44.0%と最も多く、次いで「派遣」27.7%、「紹介予定派遣」12.2%、「契約社員」6.6%となっている。

希望する働き方を集約すると、「派遣を希望」するが39.9%、「直接雇用を希望」するが54.9%と分かれる。なお、「派遣を希望」する区分の中には紹介予定派遣の12.2%も含まれていることから、派遣労働者のキャリアデザインを踏まえ、その実現に向けた支援が求められている。

前年度と比べると、「正社員」を希望する派遣スタッフが減少している。



※ 希望する働き方を集約した項目として、
「派遣を希望」は、「派遣」「紹介予定派遣」を含み、
「直接雇用を希望」は、「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」を含む。

「派遣を選択した理由」別に今後の働き方についてみると、「紹介予定派遣」、「契約社員」「パート・アルバイト」を希望する回答者の割合には大きな差はみられない。しかし、派遣で働く理由として「選択肢の多様性や自由度」を選択した回答者は今後の働き方としても「派遣」を希望する率が高く、逆に、「有名企業・大企業で働けるため」、「賃金が高いため」、「正社員として働ける就職先がなかったため」、「就職活動のつなぎに働けるため」に派遣を選択した人は、「正社員」になることを希望する率が高くなっている。

＜派遣を選んだ理由別今後の働き方＞

今後の働き方の希望

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体	5,281	100.0	27.7	12.2	6.6	44.0	4.3	4.8	0.4
専門的スキルを活かせるため	917	100.0	31.1	14.4	8.4	36.5	3.1	6.2	0.3
時間を有効に活用できるため	1,722	100.0	36.8	12.3	6.7	32.8	5.2	5.7	0.5
働く期間・時間を自分で決められるため	2,008	100.0	37.5	11.6	7.1	31.1	6.3	5.9	0.6
多数の中からやりたい仕事を選べるため	1,469	100.0	33.9	15.1	6.3	35.1	4.7	4.7	0.2
生活設計がしやすいため	490	100.0	41.2	10.6	7.1	30.8	3.9	6.3	-
勤務地を自分で選べるため (通勤時間が短い)	1,540	100.0	36.2	12.1	6.7	35.3	5.5	3.9	0.3
職場の人間関係に拘束されないため	980	100.0	39.4	12.7	7.1	30.8	4.4	5.5	0.1
有名企業・大企業で働けるため	927	100.0	28.9	15.7	8.0	40.7	2.9	3.3	0.4
正社員として働ける就職先がなかったため	2,236	100.0	16.1	13.2	6.1	58.1	2.3	3.8	0.4
賃金が高いため	1,020	100.0	30.8	11.0	7.6	40.2	5.5	4.7	0.2
勤務評価が適切なため	139	100.0	42.4	16.5	6.5	26.6	2.9	5.0	-
スキルアップになるため	1,071	100.0	30.3	15.4	6.8	39.3	3.2	4.9	0.1
教育訓練があるため	116	100.0	37.1	19.8	6.9	29.3	0.9	6.0	-
就職活動のつなぎに働けるため	726	100.0	10.9	17.1	4.4	59.6	2.9	4.8	0.3
組織にしばられないため	917	100.0	42.0	12.3	7.1	26.6	4.1	7.6	0.2
ライフスタイルが変わったため (結婚、子育て、定年等)	980	100.0	37.3	10.4	6.6	33.4	7.4	4.3	0.5
その他	236	100.0	22.5	9.3	6.4	50.0	5.1	6.4	0.4

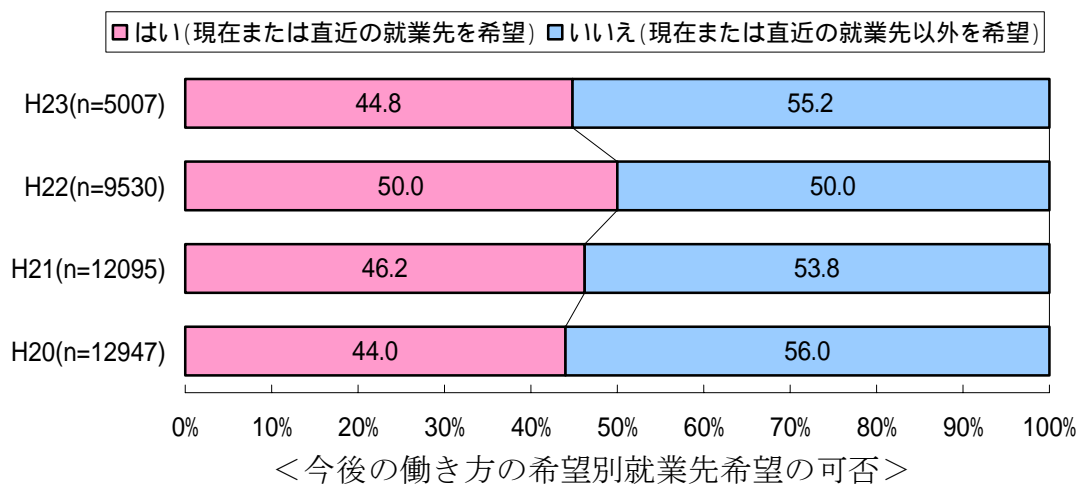
派遣を選んだ理由P10 Q2(2)

- (1)で、1. 派遣 2. 紹介予定派遣 3. 契約社員 4. 正社員
5. パート・アルバイト を選択した方はお答えください。
(1) -A: それは現在 (または直近) の就業先ですか?

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」と回答した者に、現在の就業先を希望しているかを尋ねた結果、「はい (現在または直近の就業先を希望)」が44.8%、「いいえ (現在または直近の就業先以外を希望)」が55.2%であった。

「今後の働き方の希望」でみると、引き続き、「派遣」を希望する回答者は「現在または直近の就業先」を希望する割合が多く、60.5%を占めている。

他方、将来、「紹介予定派遣」を希望する回答者は、「現在または直近の就業先以外」を希望する割合が最も多く、65.7%である。紹介予定派遣を希望する者の現在の就業環境の把握や仕事に対する意向等を聴取するなどの配慮が肝要とみられる。



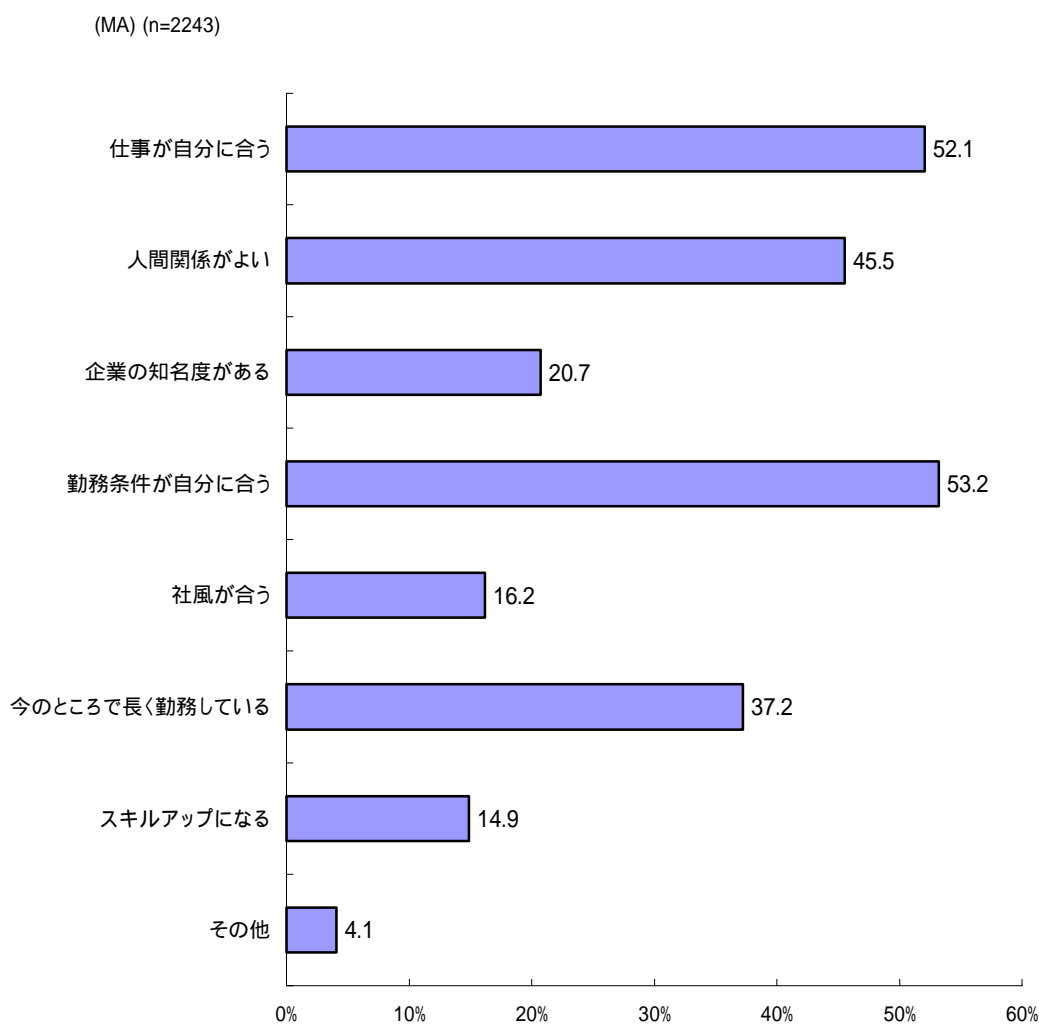
	調査数 (n)	全体	はい 就業先 (現在 または 直近 の)	いいえ 就業先 (現在 または 直近 以外を 希望 した)
全体	5,007	100.0	44.8	55.2
派遣	1,465	100.0	60.5	39.5
紹介予定派遣	645	100.0	34.3	65.7
契約社員	346	100.0	44.8	55.2
正社員	2,322	100.0	39.1	60.9
パート・アルバイト	229	100.0	31.0	69.0

今後の働き方の希望P52 Q10(1)

- (1) -Aで、1. はい を選択した方のみお答えください。
(1) -A-a : その理由をお答えください。(複数回答)

「はい（現在または直近の就業先を希望）」と回答した者に、その理由について尋ねた結果、「勤務条件が自分に合うため」が53.2%と最も多く、次いで「仕事が自分に合うため」が52.1%、「人間関係がよいため」45.5%となっている。

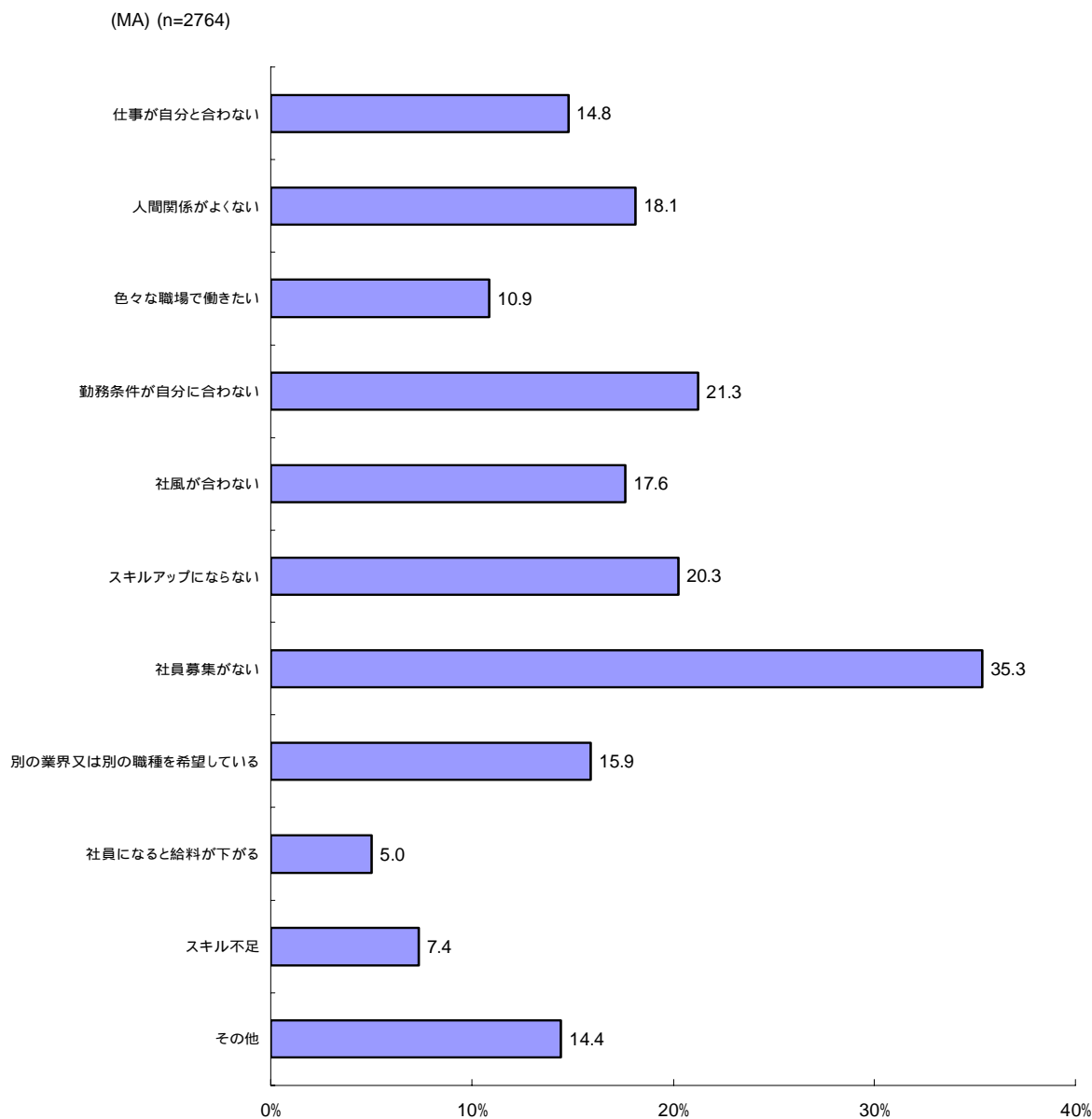
「現在の就業先を希望する」と回答した者についてみると、上記の3つの理由を共通にあげているのが特徴である。



- (1) -Aで、2. いいえ を選択した方のみお答えください。
 (1) -A-b : その理由をお答えください。(複数回答)

「いいえ（現在または直近の就業先以外を希望）」と回答した者に、その理由について尋ねた結果、「社員募集がないため」が35.3%と最も多く、次いで「勤務条件が自分に合わないため」21.3%、「スキルアップにならないため」20.3%となっている。

「現在の就業先以外を希望する」と回答した者の理由についてみると、回答選択肢が多いこともあると思われるが、理由が分散している中で、唯一「社員募集がないため」との割合が他より高くなっている。



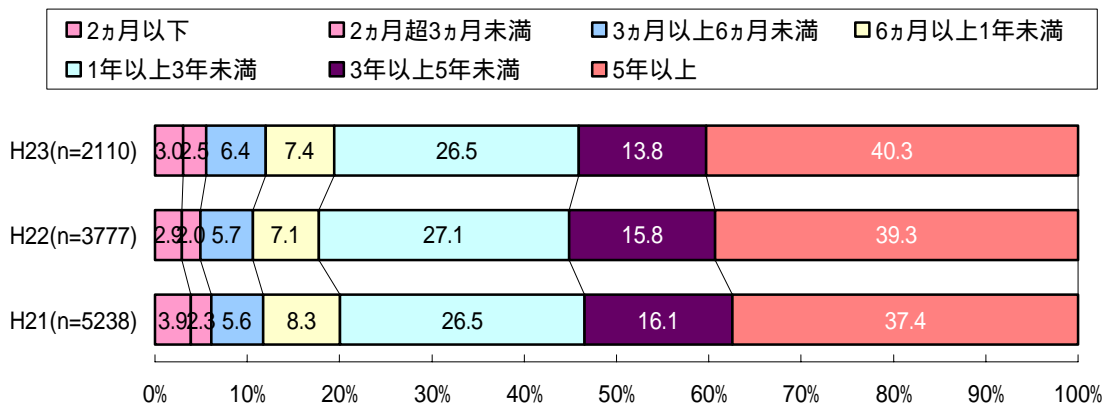
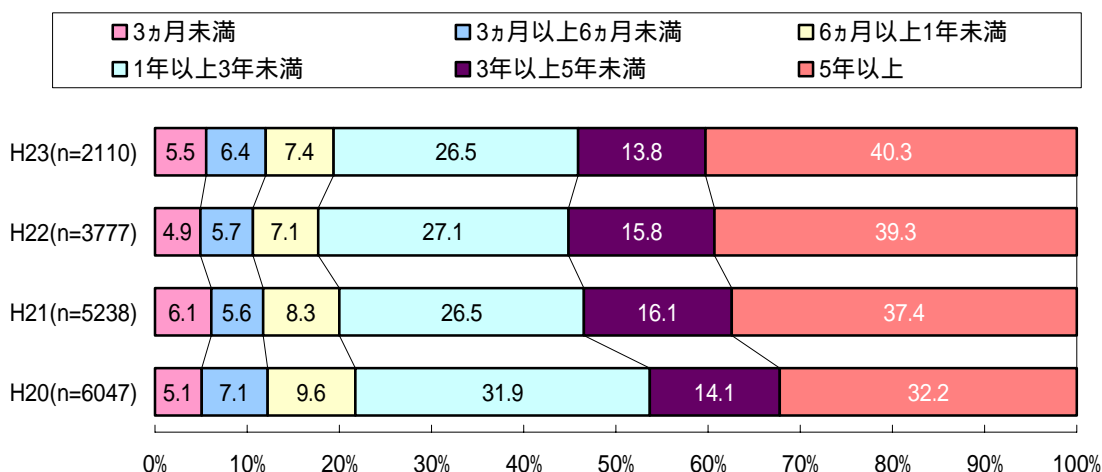
(1) で、1. 派遣 2. 紹介予定派遣 を選択した方はお答えください。
 (1) -B-a: どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか? (トータルで)

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」と回答した者に、派遣で働く期間についての希望を尋ねた結果、「5年以上」が40.3%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」26.5%、「3年以上5年未満」13.8%となっている。

これを集約すると、「1年未満」が19.4%、「1年以上」が80.6%を占めており、「3年以上」で見ると54.1%となる。

前年度と比べると、「5年以上」の割合が増加しており、長期に就業したいという希望がうかがえる。

また、「3ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」は3.0%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は2.5%という結果となっている。



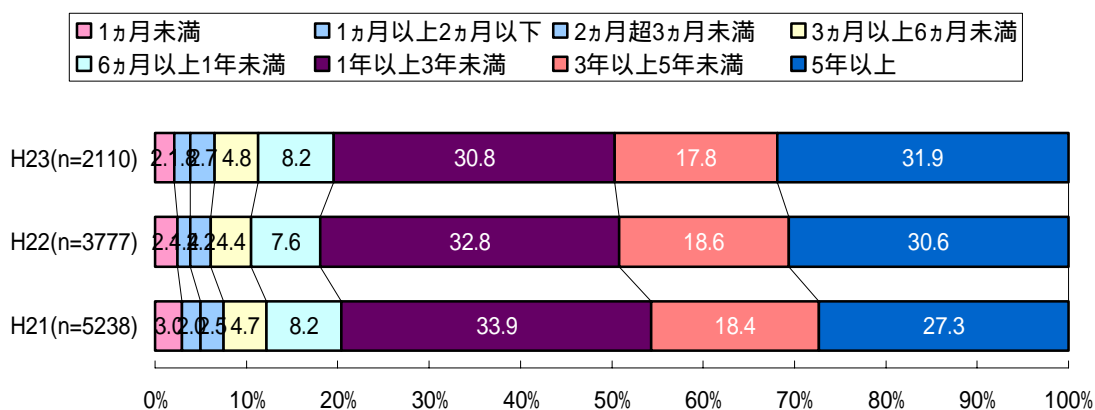
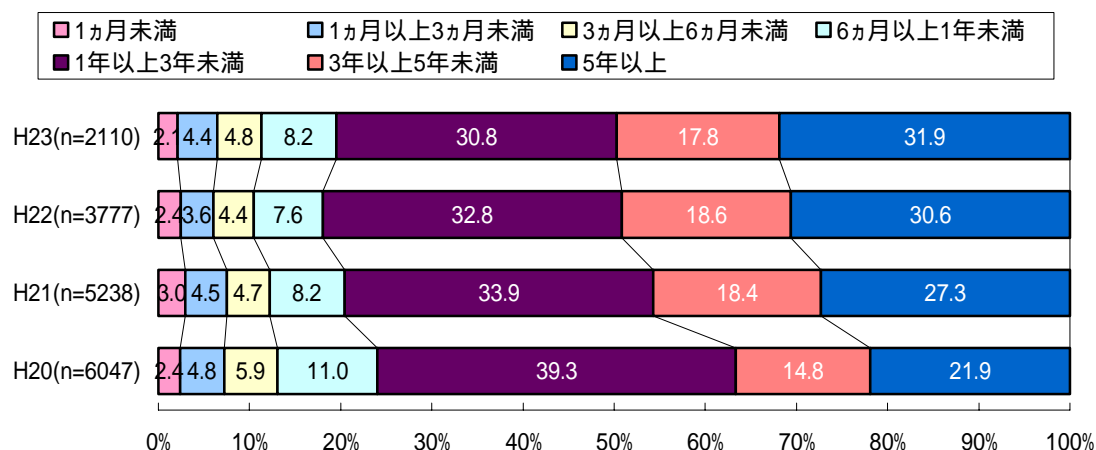
(1) -B-b：同一の就業先では、どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか？（トータルで）

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」と回答した者に、同じ就業先でどのくらい派遣で働くことを希望するかを尋ねた結果、「5年以上」が31.9%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」30.8%、「3年以上5年未満」17.8%となっている。

これを集約すると、1年未満が19.5%、1年以上が80.5%を占めており、3年以上でみると49.7%となっている。

前年度と比べると、1年以上3年未満が2.0ポイント減少し、5年以上が増加している（30.6%→31.9%[1.3ポイント増]）。同一就業先で、長く働きたいとの希望者の割合が高くなっている。

また、「1ヵ月以上3ヵ月未満」を「1ヵ月以上2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「1ヵ月以上2ヵ月以下」は2.1%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は1.8%となっている。



(1) で、3. 契約社員 4. 正社員 5. パート・アルバイト を選択した方はお答えください。

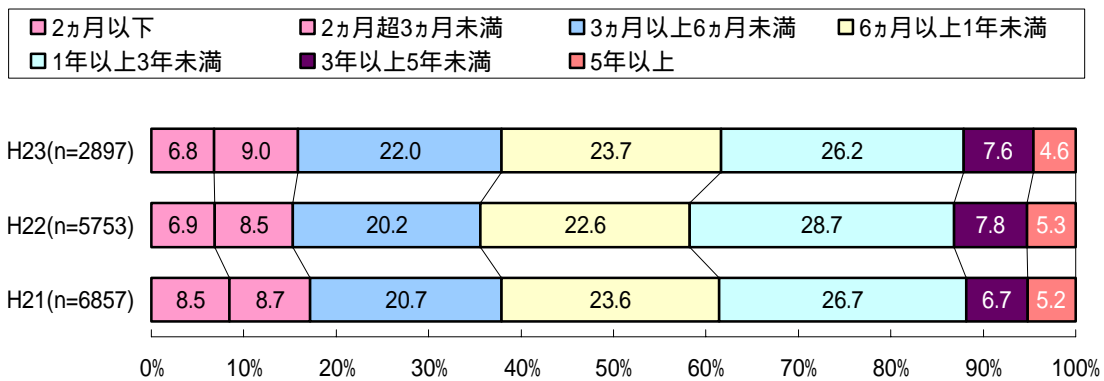
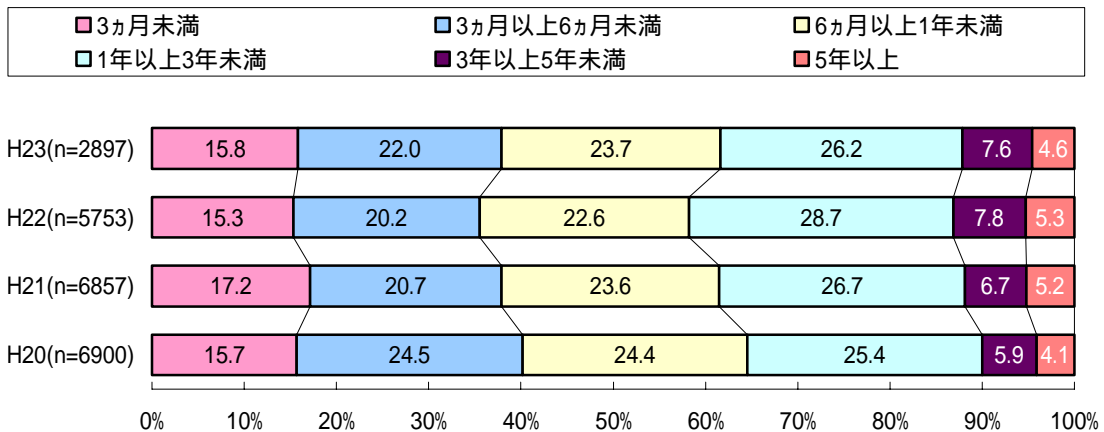
(1) -C: 希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適切と考える期間はどのくらいですか？

今後の働き方の希望について「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」と回答した者に、希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適切と考える期間を尋ねた結果、「1年以上3年未満」が26.2%と最も多く、次いで「6ヵ月以上1年未満」23.7%、「3ヵ月以上6ヵ月未満」22.0%となっている。

前年度と比べると、「1年未満」が増えている。

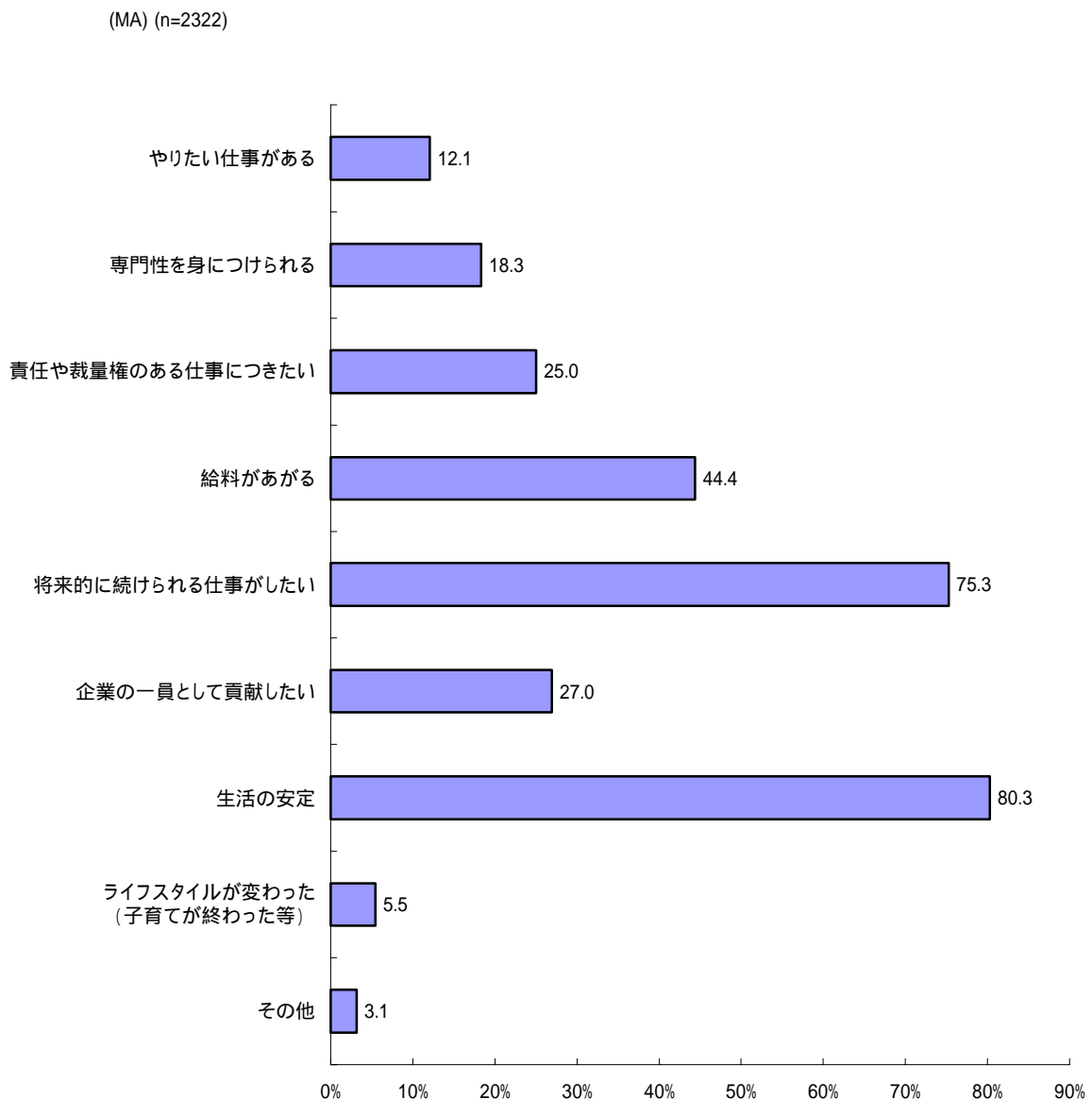
これを集約すると、「6ヵ月未満」が37.9%、「1年未満」が61.6%となっており、「1年以上」でみると38.4%となっている。

また、「3ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」は6.8%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は9.0%という結果となっている。



- (1) で、4. 正社員 を選択した方はお答えください。
(1) -D: なぜ、正社員を希望しますか? (複数回答)

今後の働き方の希望について「正社員」と回答した者に、正社員を希望する理由を尋ねた結果、「生活の安定のため」が80.3%と最も多く、次いで「将来的に続けられる仕事がしたいため」75.3%、「給料があがるため」44.4%となっている。



「今後の働き方の希望」についての回答者を「性別・年齢・独身既婚別属性」で詳しく見ると、性別・年齢に関係なく「正社員」を希望する割合は総じて高くなっているものの、「50歳以上」は男女を問わず「派遣」を希望する割合が高くなっている。

<性別・年齢等属性別今後の働き方の希望>

今後の働き方の希望

		調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体		5,281	100.0	27.7	12.2	6.6	44.0	4.3	4.8	0.4
女性全体		4,725	100.0	29.0	12.4	6.7	42.9	4.5	4.2	0.3
男性全体		556	100.0	16.9	10.6	5.6	53.4	2.7	9.5	1.3
女性 (年齢別)	24歳以下	105	100.0	23.8	6.7	5.7	58.1	2.9	2.9	-
	25～29歳	653	100.0	30.2	13.6	5.8	41.7	5.2	3.4	0.2
	30～34歳	1,126	100.0	29.8	13.9	5.6	42.8	3.4	3.9	0.5
	35～39歳	1,240	100.0	29.3	12.8	5.6	45.1	3.0	3.9	0.3
	40～44歳	915	100.0	25.5	13.6	7.3	44.0	4.6	5.0	-
	45～49歳	467	100.0	28.5	9.2	9.4	41.3	6.4	4.7	0.4
	50歳以上	219	100.0	38.4	3.2	12.3	25.1	13.7	6.8	0.5
男性 (年齢別)	24歳以下	28	100.0	21.4	10.7	7.1	46.4	7.1	7.1	-
	25～29歳	61	100.0	8.2	11.5	1.6	65.6	3.3	8.2	1.6
	30～34歳	101	100.0	10.9	16.8	3.0	58.4	3.0	6.9	1.0
	35～39歳	117	100.0	17.1	8.5	6.0	59.8	0.9	6.8	0.9
	40～44歳	99	100.0	11.1	15.2	2.0	60.6	-	10.1	1.0
	45～49歳	50	100.0	18.0	12.0	4.0	52.0	2.0	12.0	-
	50歳以上	100	100.0	32.0	1.0	14.0	29.0	6.0	15.0	3.0
独身(単身)		1,666	100.0	21.9	13.0	5.9	51.1	2.1	5.6	0.3
独身(家族同居)		1,543	100.0	23.4	14.3	6.2	48.2	2.9	4.9	0.1
既婚		2,072	100.0	35.7	10.0	7.3	35.1	7.2	4.1	0.7

「今後の働き方の希望」についての回答者を「通算就業期間（Q2(10)）」で見ると、「派遣」を希望する回答者は、「2ヵ月以下」はその割合が高くなっているが、それ以外は平均的に分布している。一方、「正社員」を希望する回答者は、平均的に高くなっている。

<通算就業期間別今後の働き方の希望>

今後の働き方の希望

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体	5,281	100.0	27.7	12.2	6.6	44.0	4.3	4.8	0.4
2ヵ月以下	773	100.0	34.0	9.4	5.8	36.7	8.5	5.3	0.1
2ヵ月超6ヵ月未満	810	100.0	26.7	14.8	7.0	40.7	5.1	5.3	0.4
6ヵ月以上1年未満	876	100.0	27.1	13.6	6.5	45.2	3.5	4.0	0.1
1年以上2年未満	851	100.0	25.7	12.7	5.9	46.1	3.8	5.4	0.5
2年以上3年未満	511	100.0	25.0	14.7	7.0	46.6	3.3	3.3	-
3年以上5年未満	757	100.0	26.8	11.8	5.8	47.2	3.8	4.0	0.7
5年以上	703	100.0	28.3	8.7	8.1	46.2	1.8	5.8	1.0

通算就業期間
P19 Q2(10)

「今後の働き方の希望」について、「派遣と紹介予定派遣」と回答した者の割合は、全体としては39.9%であるが、業務の種類によって変化がみられる。業務の種類が「26業務」の場合は40.5%、「26業務以外（製造・軽作業除く）」の場合は40.5%、「製造・軽作業」の場合は27.1%となっている。

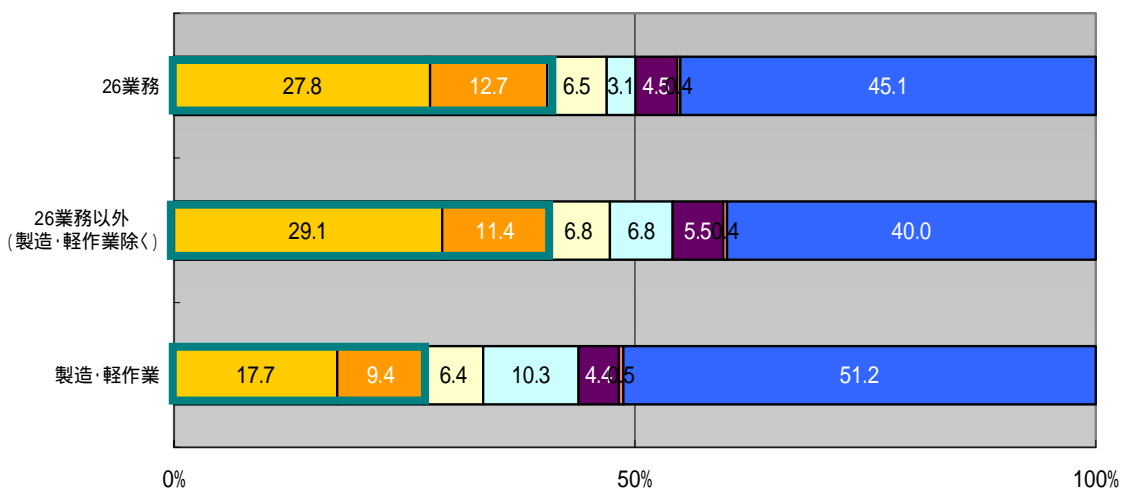
特に「製造・軽作業」の場合は「正社員」「パート・アルバイト」といった働き方を希望している比率が高くなっており、短期契約が多いことや賃金水準が低いことなどから、長期に生活が安定できる働き方又は臨時・一時的な就労を望んでいることがうかがえる。

<業務の種類別今後の働き方の希望>

今後の働き方の希望

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない	正社員
全体	5,281	100.0	27.7	12.2	6.6	4.3	4.8	0.4	44.0
26業務	3,669	100.0	27.8	12.7	6.5	3.1	4.5	0.4	45.1
26業務以外 (製造・軽作業除く)	1,409	100.0	29.1	11.4	6.8	6.8	5.5	0.4	40.0
製造・軽作業	203	100.0	17.7	9.4	6.4	10.3	4.4	0.5	51.2

■ 派遣
 ■ 紹介予定派遣
 ■ 契約社員
 ■ パート・アルバイト
 ■ 自営・独立
 ■ 働くつもりはない
 ■ 正社員



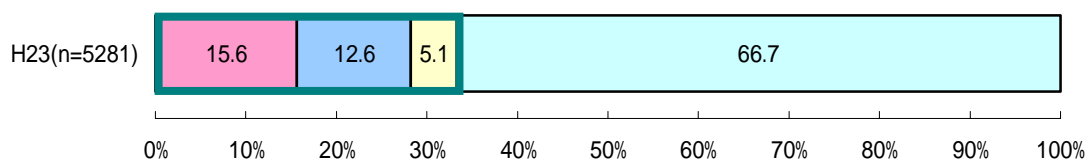
Q. 11 派遣先からの直接雇用の打診について

- (1) これまでに（現在の派遣先以外も含む）、派遣先から直接雇用の打診を受けたことがありますか？直近のものについてお答えください。（○は1つ）

派遣先から直接雇用の打診された割合は、雇用形態を問わないと33.3%である。

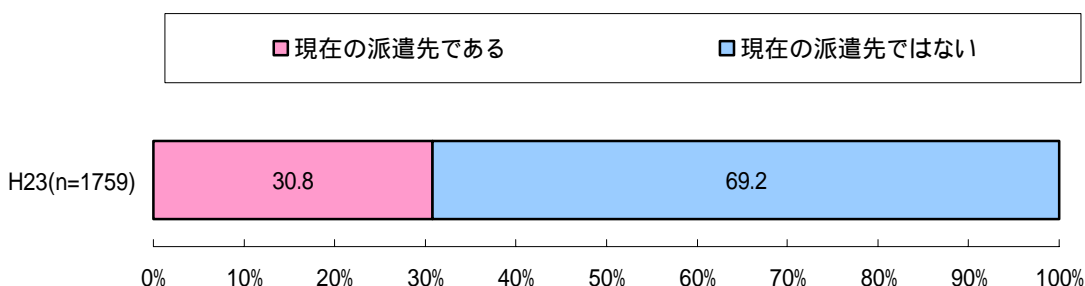
その内訳は、「正社員として直接雇用の打診された」が15.6%、「契約社員として直接雇用の打診された」が12.6%、「パート・アルバイトとして直接雇用の打診された」5.1%となっている。

■ 正社員として直接雇用の打診された ■ 契約社員として直接雇用の打診された
□ パート・アルバイトとして直接雇用の打診された □ 打診された経験はない



- (1) で、1～3（直接雇用を打診された）を選択した方はお答えください。
 (1) -A：直接雇用を打診したのは現在の派遣先ですか？（○は1つ）

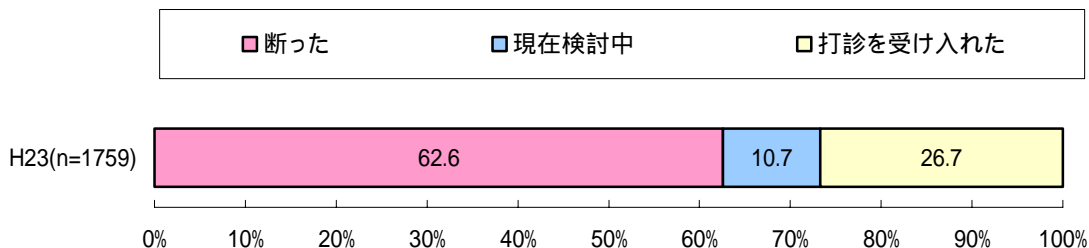
直接雇用を打診された方に、打診したのは現在の派遣先ですかと尋ねたところ、「現在の派遣先ではない」が69.2%で、「現在の派遣先である」は30.8%であった。



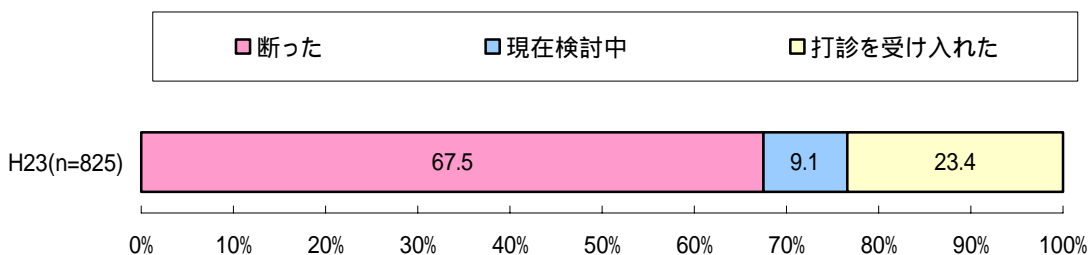
- (1) -B：直接雇用を打診された際にどのように対応しましたか？（○は1つ）

直接雇用を打診された方にその際どのように対応しましたかと尋ねたところ、「断った」が62.6%で、「打診を受け入れた」が26.7%で、「現在検討中」が10.7%であり、派遣社員は、必ずしも直接雇用を望んではいないことが伺われる。特に、正社員として直接雇用を打診された人が断った比率は67.5%、打診を受け入れた比率は23.4%と、他の直接雇用と比べると打診を受け入れた比率は低い。

直接雇用を打診された際の対応



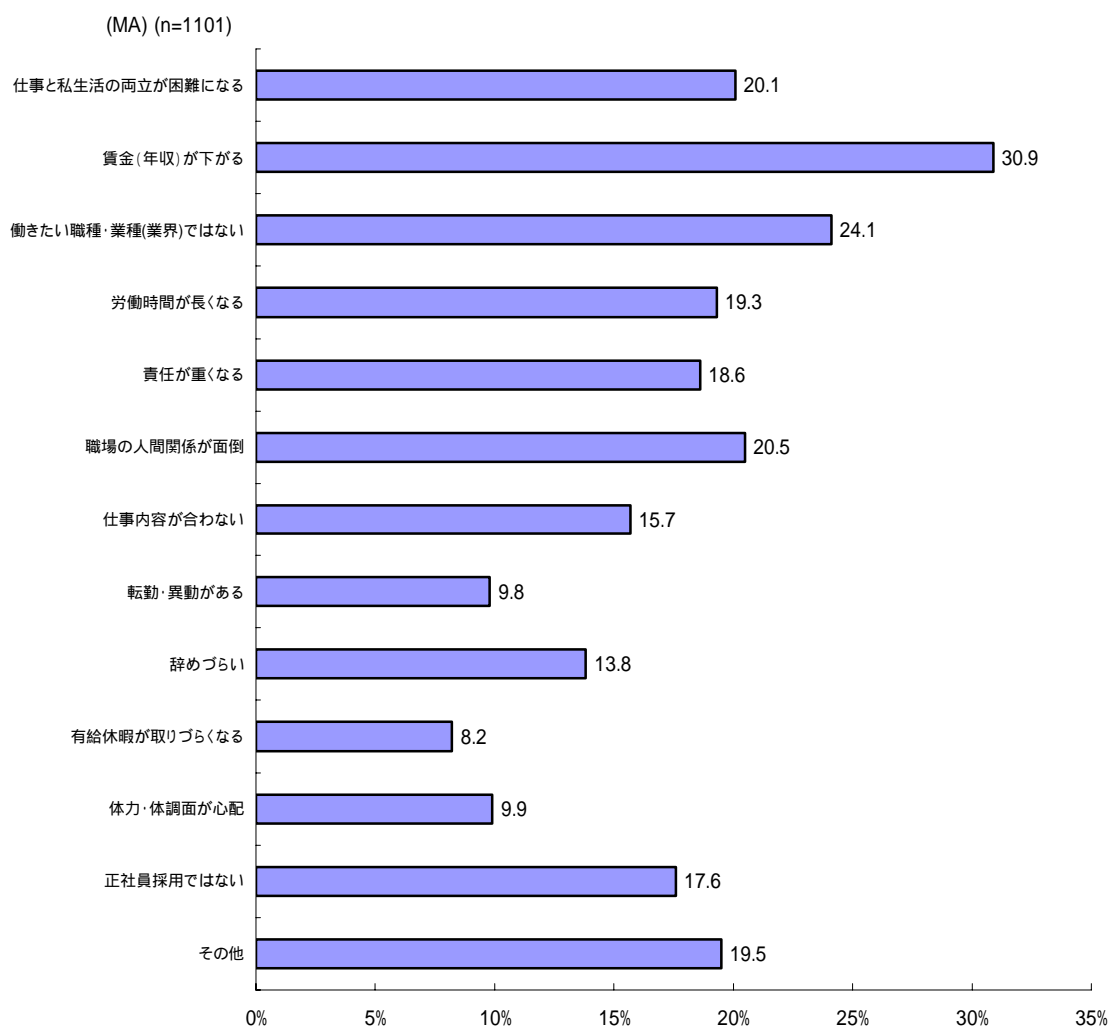
正社員として直接雇用を打診された際の対応



- (1) -Bで、1. 断った を選択した方はお答えください。
 (1) -B-a : 直接雇用を断った理由は何ですか。(複数回答)

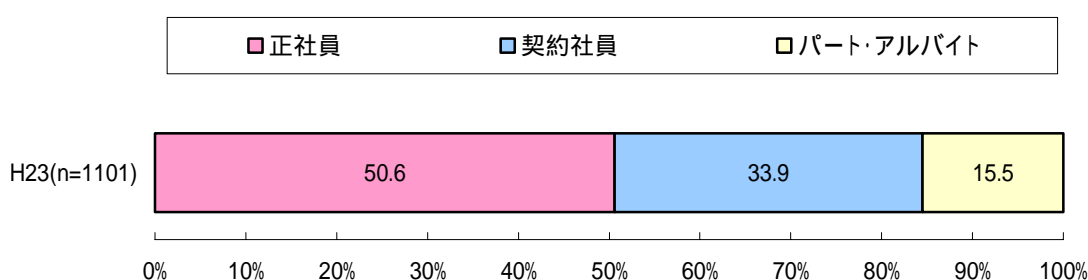
直接雇用を断った理由について尋ねたところ、「賃金(年収)が下がる」が30.9%と最も多く、次いで「働きたい職種・業種(業界)ではない」が24.1%、「職場の人間関係が面倒」20.5%、「仕事と私生活の両立が困難になる」20.1%、「労働時間が長くなる」19.3%、「責任が重くなる」18.6%となっている。

派遣社員が派遣を選んだ理由とも関係するが、多様な雇用形態の一環として派遣を選んでいる方がいることがこの点からも伺われる。



直接雇用の打診を断った者は、正社員として打診された者が50.6%、契約社員として打診された者が33.9%、パート・アルバイトとして打診された者が15.5%であった。それぞれがどのような理由によって断ったかをクロス集計したところ、正社員として打診された者が断った理由は、正社員をやめた理由(Q2(1)-A-b)とよく似ている。

パート・アルバイト、契約社員として打診された者が断った最多の理由は、「賃金(年収)が下がる」という理由であるが、正社員として打診された者でも、その比率は低くない。正社員として打診された者の断った最多の理由は、「働きたい職種・業種(業界)ではない」であった。



	調査数 (n)	仕事と私生活の両立が困難になる	賃金(年収)が下がる	働きたい職種・業種(業界)ではない	労働時間が長くなる	責任が重くなる	職場の人間関係が面倒	仕事内容が合わない	転勤・異動がある	辞めづらい	有給休暇が取りづらくなる	体力・体調面が心配	正社員採用ではない	その他
正社員	557	21.7	21.4	28.0	20.6	20.1	21.9	17.2	11.0	12.4	8.3	10.1	-	24.1
契約社員	373	19.3	36.5	20.6	21.4	20.9	20.9	14.7	10.7	14.5	8.8	11.3	32.4	16.9
パート・アルバイト	171	16.4	49.7	18.7	10.5	8.8	15.2	12.9	4.1	17.0	6.4	6.4	38.0	15.2